

山武市男女共同参画に関する 市民意識調査報告書（概要版）

平成30年3月

山武市

目 次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の内容	1
(3) 調査の実施要領	1
(4) 回答状況	1
(5) 集計にあたって	1
2. 回答者の状況	2
3. 男女共同参画・男女平等に関すること	6
(1) 男女の地位	6
(2) 性別に関わること	10
(3) 男女共同参画の取り組み	11
(4) 男女共同参画に関する認知度	14
4. 職業の場に関すること	16
(1) 職場での男女平等感	16
(2) 働く環境	19
5. 家庭生活や地域活動	22
(1) 家庭での役割分担	22
(2) 地域活動への参加	27
6. 男女間の暴力	31
(1) セクシュアル・ハラスメント等	31
(2) DV・各種ハラスメント	37
7. 男女共同参画社会実現のために必要なこと	43

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、満18歳以上の市民を対象に、男女共同参画についての市民の意識や実態を把握し、調査結果を「第3次山武市男女共同参画計画」の策定に向けての基礎資料とするとともに、今後の山武市の男女共同参画に関する施策に反映させていくことを目的とする。

(2) 調査の内容

- ア 男女共同参画・男女平等に関することについて
- イ 職場について
- ウ 家庭生活や地域活動について
- エ 男女間の暴力について
- オ 男女共同参画社会実現のために必要なことについて

(3) 調査の実施要領

- ア 調査対象 市内在住の満18歳以上の男女
- イ 対象数 2,000人
- ウ 調査方法 郵送による配布・回収
- エ 調査期間 平成30年1月5日～1月19日

(4) 回答状況

- ア 配布数 2,000件
- イ 有効回答数 743件(女性417件、男性312件、無回答14件)
- ウ 有効回収率 37.2%

(5) 集計にあたって

回答は、回答件数を分母とした百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

ひとつの質問に対して複数回答を求める質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。

「前回」とは、平成19年度に実施した市民意識調査結果であり、今回の結果と比較できる設問について掲載している。

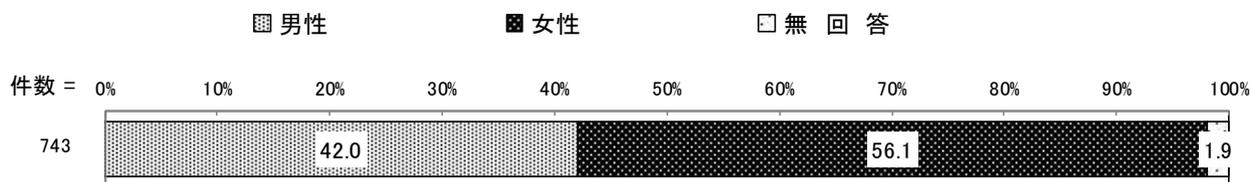
2. 回答者の状況

F1 あなたの性別について

「男性」が42.0%、「女性」が56.1%で女性が多い。

「男性」（前回39.7%）と「女性」（前回55.9%）の割合は同程度である。

F1 性別[%]



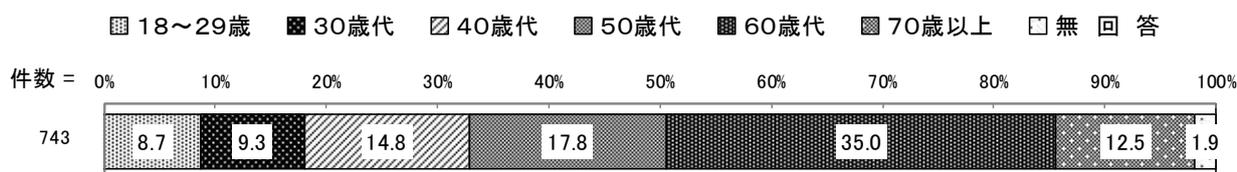
	全 体	男 性	女 性	無 回 答
前回	678 100.0	269 39.7	379 55.9	30 4.4
今回	743 100.0	312 42.0	417 56.1	14 1.9

F2 あなたの年齢について(平成30年1月1日現在)

「60歳代」が35.0%と多く、「50歳代」が17.8%、「40歳代」が14.8%、「70歳以上」が12.5%、「30歳代」が9.3%、「18~29歳」が8.7%である。

前回に比べ、「60歳代」は19.3%から35.0%と特に多くなっており、「50歳代」、「70歳以上」はそれぞれ5%前後少なくなっている。

F2 年齢[%]

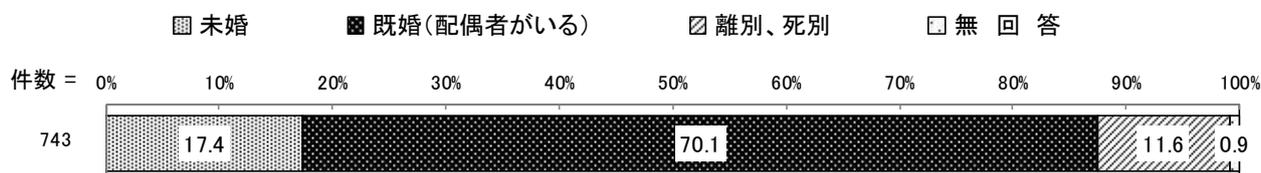


	全 体	18~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無 回 答
前回	678 100.0	54 8.0	74 10.9	114 16.8	153 22.6	131 19.3	128 18.9	24 3.5
今回	743 100.0	65 8.7	69 9.3	110 14.8	132 17.8	260 35.0	93 12.5	14 1.9

F3-1 あなたは結婚(事実婚を含む)されていますか。

「既婚(配偶者がいる)」が70.1%と多く、「未婚」は17.4%である。

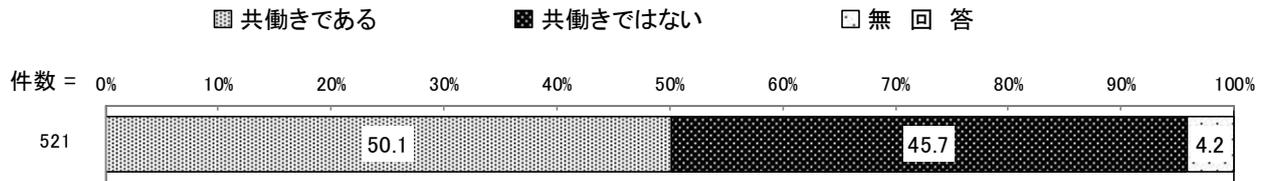
F3-1 未既婚[%]



F3-2 (F3-1で2の方)あなたのご家庭は共働きですか。

「共働きである」が50.1%と、「共働きではない」の45.7%よりやや多い。

F3-2 共働きか[%]

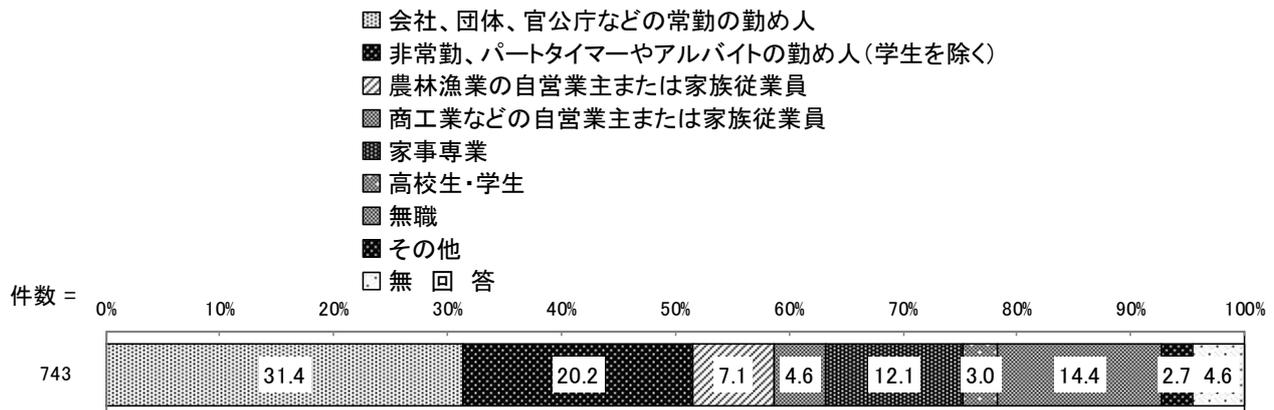


F4-1 あなたの主な職業は何ですか。いちばん近いものをお答えください。

全体では、「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」が31.4%と多く、「非常勤、パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生を除く)」が20.2%、「無職」が14.4%と続いている。

前回に比べ、「商工業などの自営業主または家族従業員」が15.9%から4.6%と少なく、「会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人」と「非常勤、パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生を除く)」がそれぞれ29.2%から31.4%、15.6%から20.2%と多くなっている。

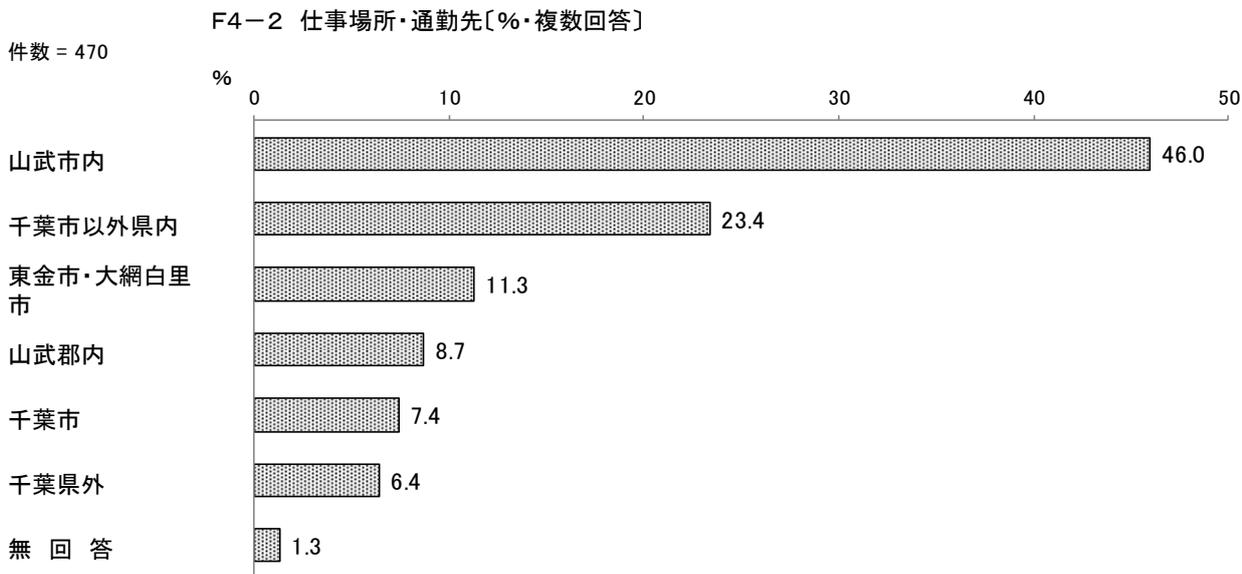
F4-1 主たる職業[%]



	全体	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	非常勤、パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生を除く)	農林漁業の自営業主または家族従業員	商工業などの自営業主または家族従業員	家事専業	高校生・学生	無職	その他	無回答
前回	678	198	106	11	108	83	12	121	15	24
	100.0	29.2	15.6	1.6	15.9	12.2	1.8	17.8	2.2	3.5
今回	743	233	150	53	34	90	22	107	20	34
	100.0	31.4	20.2	7.1	4.6	12.1	3.0	14.4	2.7	4.6

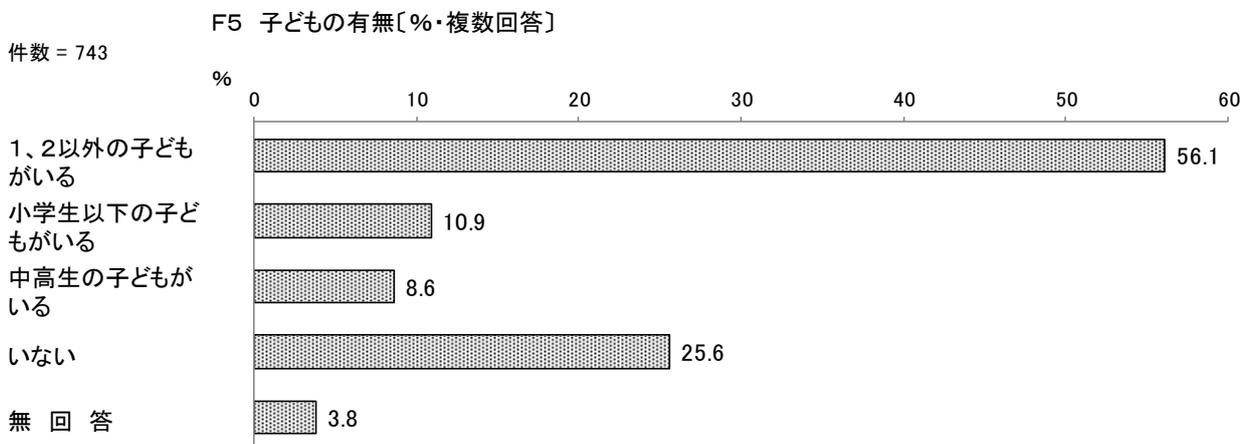
F4-2 (F4-1で1~4の方) 仕事場所・通勤先はどちらですか。

全体では、「山武市内」が46.0%と多く、「千葉市以外県内」が23.4%、「東金市・大網白里市」が11.3%と続いている。



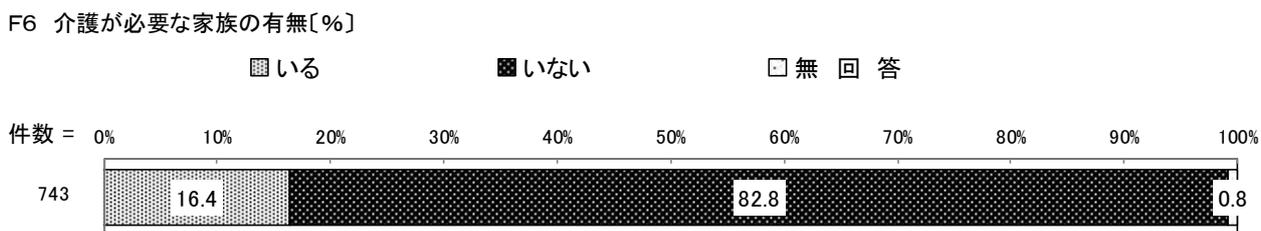
F5 あなたには、お子さんがいますか。

全体では、「1、2以外の子ども（高校生以上の子ども）がいる」が56.1%と多く、「いない」が25.6%、「小学生以下の子どもがいる」が10.9%と続いている。



F6 全員に伺います。あなたには、介護が必要な家族がいますか。

全体では、「いない」が82.8%とほとんどを占めて多い。

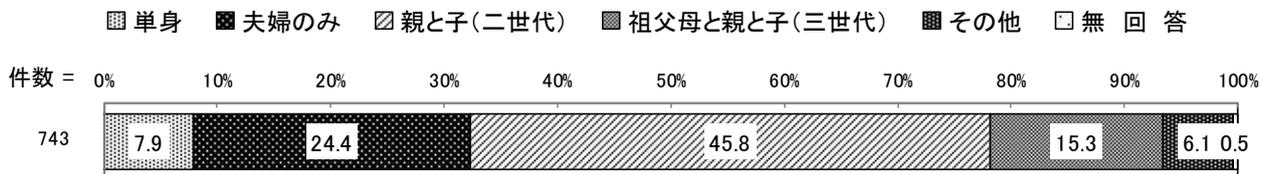


F7 あなたの世帯構成は次のどれですか。

全体では、「親と子（二世帯）」が45.8%と多く、「夫婦のみ」が24.4%、「祖父母と親と子（三世帯）」が15.3%と続いている。

前回に比べ、「親と子（二世帯）」と「夫婦のみ」はそれぞれ38.2%から45.8%、20.2%から24.4%と多くなっており、「祖父母と親と子（三世帯）」は24.2%から15.3%と少なくなっている。

F7 世帯構成[%]



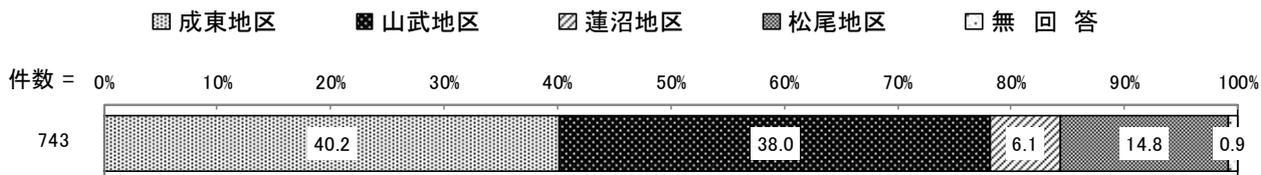
	全 体	単 身	夫婦のみ	親と子(二世帯)	祖父母と親と子(三世帯)	その他	無 回 答
前回	678 100.0	37 5.5	137 20.2	259 38.2	164 24.2	47 6.9	34 5.0
今回	743 100.0	59 7.9	181 24.4	340 45.8	114 15.3	45 6.1	4 0.5

F8 お住まいの地区はどこですか。

全体では、「成東地区」が40.2%と多く、「山武地区」が38.0%、「松尾地区」が14.8%と続いている。

前回に比べ、「成東地区」と「蓮沼地区」はさほど変わらず、「松尾地区」は17.0%から14.8%と少なくなっており、「山武地区」は32.4%から38.0%とやや多くなっている。

F8 居住地区[%]



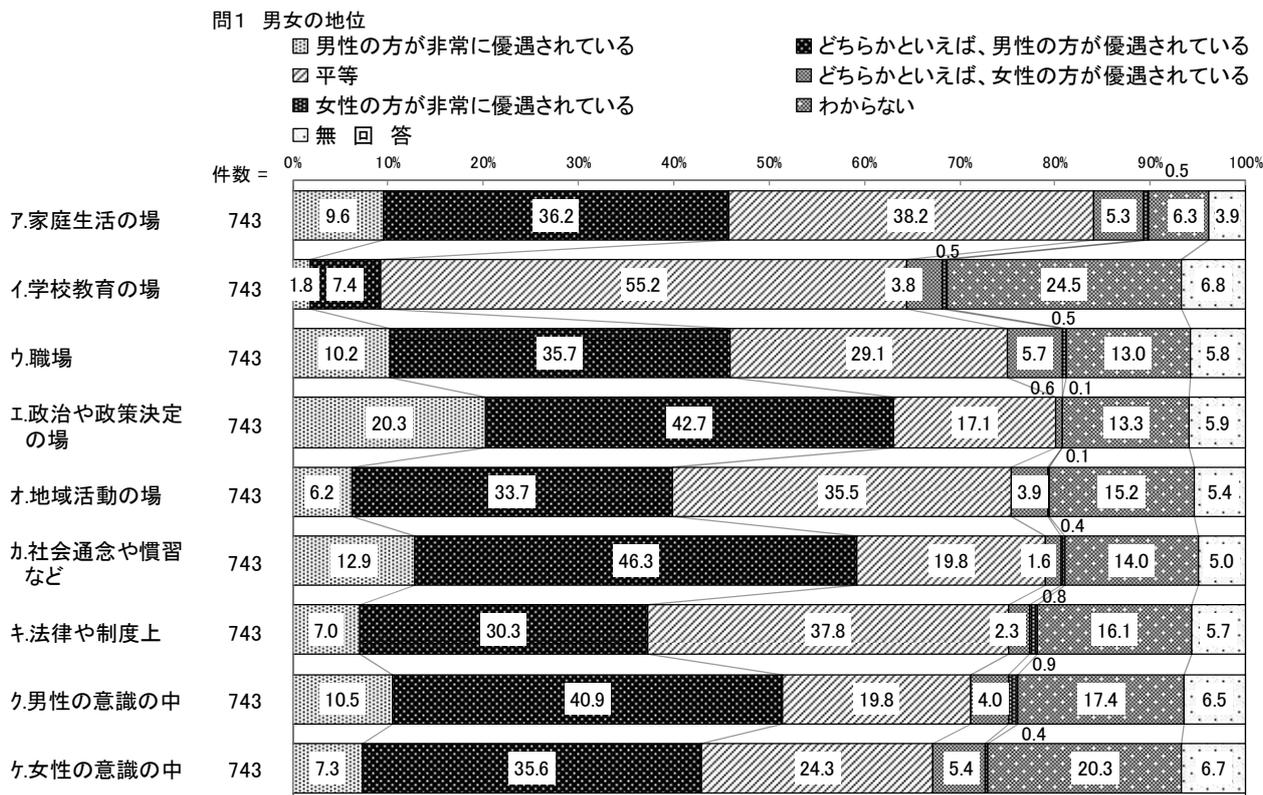
	全 体	成東地区	山武地区	蓮沼地区	松尾地区	無 回 答
前回	678 100.0	272 40.1	220 32.4	44 6.5	115 17.0	27 4.0
今回	743 100.0	299 40.2	282 38.0	45 6.1	110 14.8	7 0.9

3. 男女共同参画・男女平等に関すること

(1) 男女の地位

問1 あなたは、次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

「平等」が多く回答されているのは、学校教育の場で55.2%、法律や制度上で37.8%となっています。『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）が多く回答されているのは、政治や政策決定の場で63.0%、社会通念や慣習などで59.2%、男性の意識の中で51.4%となっています。



ア. 家庭生活の場

全体では、「平等」が38.2%、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が36.2%と多く、「男性の方が非常に優遇されている」は9.6%である。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が49.0%から36.2%と少なくなっており、「平等」が26.0%から38.2%と多くなっている。

	全体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
前回	678	70	332	176	49	3	30	18
	100.0	10.3	49.0	26.0	7.2	0.4	4.4	2.7
今回	743	71	269	284	39	4	47	29
	100.0	9.6	36.2	38.2	5.2	0.5	6.3	3.9

イ. 学校教育の場

全体では、「平等」が55.2%と多く、「わからない」が24.5%と続いている。

前回に比べ、「平等」は前回同様50%を超えて多く、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」は前回の13.0%、6.5%からそれぞれ少なくなっている。

問1 男女の地位 イ.学校教育の場[上段:人数・下段:%]								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	13 1.9	88 13.0	383 56.5	44 6.5	3 0.4	102 15.0	45 6.6
今回	743 100.0	13 1.7	55 7.4	410 55.2	28 3.8	4 0.5	182 24.5	51 6.9

ウ. 職場

全体では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が35.7%と多く、「平等」は29.1%、「わからない」が13.1%で続いている。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」は44.8%から少なくなっており、「平等」が17.0%から多くなっている。

問1 男女の地位 ウ.職場[上段:人数・下段:%]								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	100 14.7	304 44.8	115 17.0	41 6.0	4 0.6	68 10.0	46 6.8
今回	743 100.0	76 10.2	265 35.7	216 29.1	42 5.7	4 0.5	97 13.1	43 5.8

エ. 政治や政策決定の場

全体では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が42.7%と多く、「男性の方が非常に優遇されている」は20.3%、「平等」が17.1%で続いている。

前回に比べ、「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」がそれぞれ25.2%、44.7%からやや少なくなり、「わからない」が7.1%からやや多くなっている。

問1 男女の地位 エ.政治や政策決定の場[上段:人数・下段:%]								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	171 25.2	303 44.7	118 17.4	4 0.6	2 0.3	48 7.1	32 4.7
今回	743 100.0	151 20.3	317 42.7	127 17.1	4 0.5	1 0.1	99 13.3	44 5.9

オ. 地域活動の場

全体では、「平等」が35.5%、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が33.6%と同程度になっている。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」と「平等」は前回同様30%を超えて多く、「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」は7.1%から少なくなっており、「わからない」は8.1%から多くなっている。

問1 男女の地位 オ地域活動の場〔上段:人数・下段:%〕								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	46 6.8	242 35.7	246 36.3	48 7.1	3 0.4	55 8.1	38 5.6
今回	743 100.0	46 6.2	250 33.6	264 35.5	29 3.9	1 0.1	113 15.2	40 5.4

カ. 社会通念や慣習など

全体では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が46.3%と多く、「平等」は19.8%、「わからない」が14.0%で続いている。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」は58.8%から46.3%と少なく、「わからない」が6.2%から14.0%と多くなっている。

問1 男女の地位 カ社会通念や慣習など〔上段:人数・下段:%〕								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	80 11.8	399 58.8	104 15.3	17 2.5	0 0.0	42 6.2	36 5.3
今回	743 100.0	96 12.9	344 46.3	147 19.8	12 1.6	3 0.4	104 14.0	37 5.0

キ. 法律や制度上

全体では、「平等」が37.8%、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が30.3%と多く、「わからない」が16.2%で続いている。

前回に比べて、「平等」が40.0%から少なくなっているものの37.8%と多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が前回同様30%台、「わからない」は10.8%から16.2%と多くなっている。「どちらかといえば、女性の方が優遇されている」が5.3%からやや少なくなって2.3%である。

問1 男女の地位 キ法律や制度上〔上段:人数・下段:%〕								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	50 7.4	207 30.5	271 40.0	36 5.3	1 0.1	73 10.8	40 5.9
今回	743 100.0	52 7.0	225 30.3	281 37.8	17 2.3	6 0.8	120 16.2	42 5.7

ク. 男性の意識の中

全体では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が40.9%と多く、「平等」が19.8%、「わからない」が17.4%で続いている。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が46.0%から40.9%とやや少なく、「平等」が17.3%から19.8%とやや多くなっている。

問1 男女の地位 ク.男性の意識の中[上段:人数・下段:%]								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	84 12.4	312 46.0	117 17.3	44 6.5	7 1.0	67 9.9	47 6.9
今回	743 100.0	78 10.5	304 40.9	147 19.8	30 4.0	7 0.9	129 17.4	48 6.5

ケ. 女性の意識の中

全体では、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が35.7%と多く、「平等」が24.2%、「わからない」が20.3%で続いている。

前回に比べ、「どちらかといえば、男性の方が優遇されている」が42.0%から35.7%と少なくなっている。

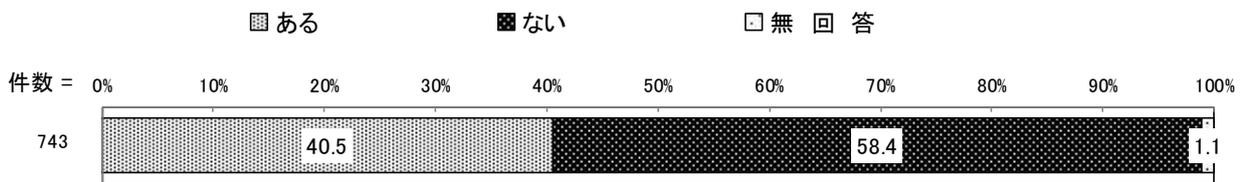
問1 男女の地位 ケ.女性の意識の中[上段:人数・下段:%]								
	全 体	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	53 7.8	285 42.0	153 22.6	40 5.9	6 0.9	83 12.2	58 8.6
今回	743 100.0	54 7.3	265 35.7	180 24.2	40 5.4	3 0.4	151 20.3	50 6.7

(2) 性別に関わること

問2-1 あなたはこれまで、「男だから(なのに)」「女だから(なのに)」「長男だから(なのに)」「長女だから(なのに)」「婿だから(なのに)」「嫁だから(なのに)」など、性別に関わることを周囲に言われたために、自分のしたかったことをあきらめたり、精神的な負担を感じたりしたことはありますか。

全体では、「ない」が58.4%と多く、「ある」が40.5%である。

問2-1 性別に関わる発言で負担等を感じたこと[%]



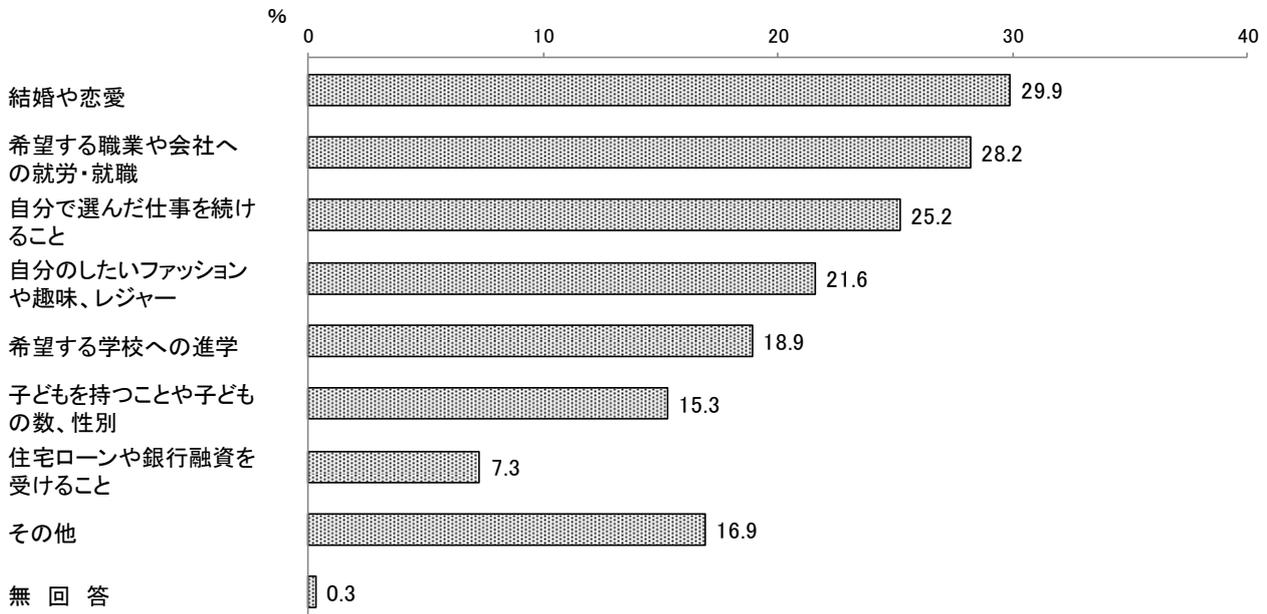
問2-2 (問2-1で「1 ある」と回答した方)それはどのようなことですか。

全体では、「結婚や恋愛」が29.9%と多く、「希望する職業や会社への就労・就職」が28.2%、「自分で選んだ仕事を続けること」が25.2%で続いている。

前回に比べ、「希望する職業や会社への就労・就職」、「自分で選んだ仕事を続けること」、「結婚や恋愛」はそれぞれ15~16%台から25%を超えて多くなっている。

問2-2 負担等を感じた内容[%・複数回答]

件数 = 301



問2-2 負担等を感じた内容[上段:人数・下段:%・複数回答]

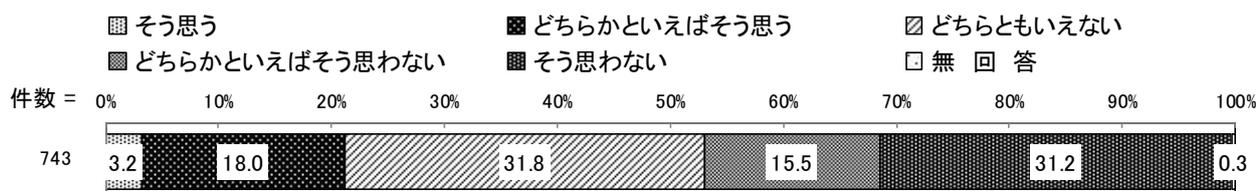
	全 体	希望する学 校への進 学	希望する職 業や会社 への就労・ 就職	自分で選 んだ仕事 を続ける こと	住宅ロー ンや銀行 融資を受 けること	結婚や恋 愛	子どもを持 つことや子 どもの数、 性別	自分のした いファッ ションや 趣味、 レジャー	その他	無 回 答
前回	678 100.0	96 14.2	103 15.2	110 16.2	60 8.8	113 16.7	68 10.0	82 12.1	363 53.5	26 3.8
今回	301 100.0	57 18.9	85 28.2	76 25.2	22 7.3	90 29.9	46 15.3	65 21.6	51 16.9	1 0.3

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

全体では、「思わない」（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の計）は46.7%と多く、「どちらともいえない」が31.8%、「思う」（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）が21.2%で続いている。

前回に比べ、「どちらかといえばそう思う」は34.1%から18.0%と少なくなり、「どちらともいえない」は24.9%から31.8%、「そう思わない」も20.1%から31.2%と多くなっている。

問3 「男は仕事、女は家庭」という考え方について[%]



	全 体	そう思う	どちらかとい えればそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えればそう 思わない	そう思わな い	無 回 答
前回	678 100.0	55 8.1	231 34.1	169 24.9	79 11.7	136 20.1	8 1.2
今回	743 100.0	24 3.2	134 18.0	236 31.8	115 15.5	232 31.2	2 0.3

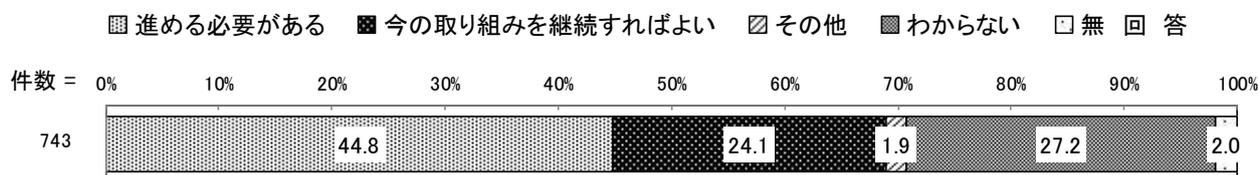
(3) 男女共同参画の取り組み

問4-1 あなたは、男女共同参画を進める必要があると思いますか。

全体では、「進める必要がある」が44.8%と多く、「わからない」が27.2%、「今の取り組みを継続すればよい」が24.1%である。

前回に比べ、「今の取り組みを継続すればよい」が46.5%から24.1%と少なくなり、「進める必要がある」が24.9%から44.8%と多くなっている。

問4 男女共同参画を進める必要があるか[%]

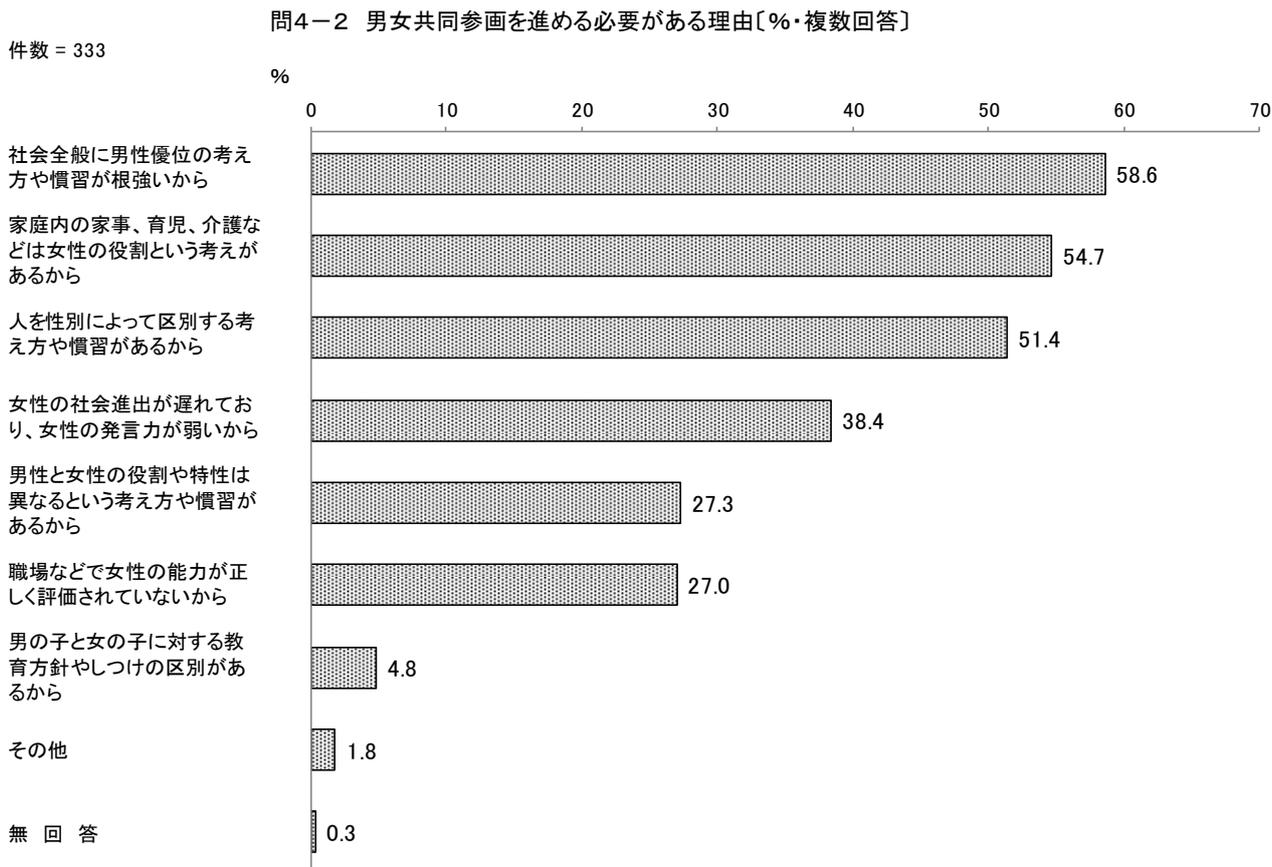


	全 体	進める必要 がある	今の取り組 みを継続す ればよい	その他	わからない	無 回 答
前回	678 100.0	169 24.9	315 46.5	161 23.7	7 1.0	26 3.8
今回	743 100.0	333 44.8	179 24.1	14 1.9	202 27.2	15 2.0

問4-2 (問4-1で「1 進める必要がある」と回答した方)その理由を選んでください。

全体では、「社会全般に男性優位の考え方や慣習が根強いから」が58.6%、「家庭内の家事、育児、介護などは女性の役割という考えがあるから」が54.7%、「人を性別によって区別する考え方や慣習があるから」が51.4%と5割を超えている。

前回と同様に「社会全般に男性優位の考え方や慣習が根強いから」が最も多く、割合も49.2%から58.6%と増えている。僅差で、「家庭内の家事、育児、介護などは女性の役割という考えがあるから」と「人を性別によって区別する考え方や慣習があるから」が50%強で続いている。「女性の社会進出が遅れており、女性の発言力が弱いから」は、前回の31.0%から38.4%とやや多くなっている。



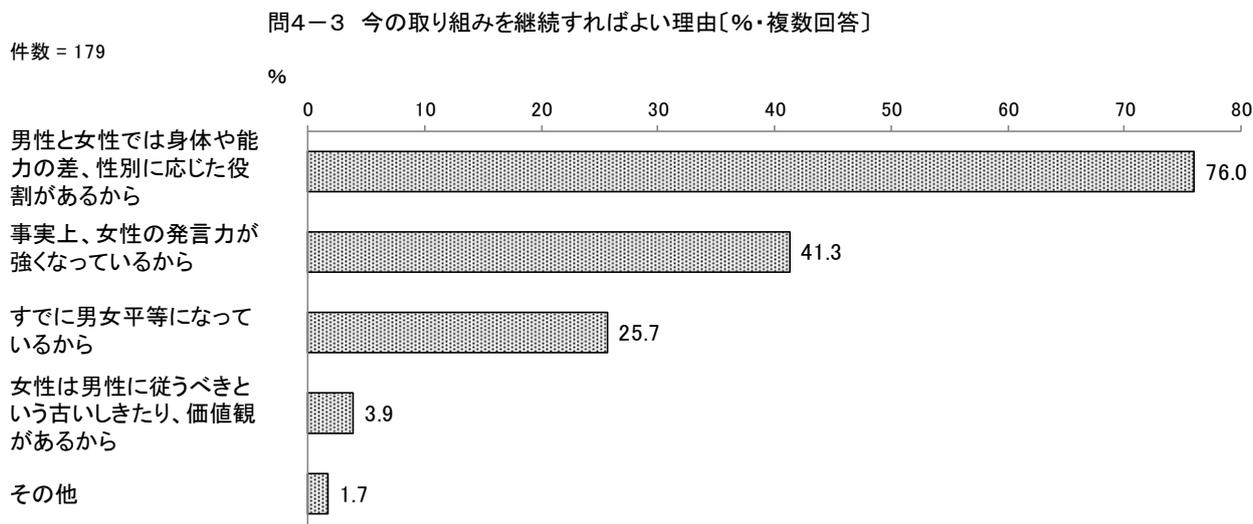
問4-2 男女共同参画を進める必要がある理由[上段:人数・下段:%・複数回答]

	全体	人を性別によって区別する考え方や慣習があるから	女性の社会進出が遅れており、女性の発言力が弱いから	職場などで女性の能力が正しく評価されていないから	男性と女性の役割や特性は異なるという考え方や慣習があるから	家庭内の家事、育児、介護などは女性の役割という考えがあるから	男の子と女の子に対する教育方針やしつけの区別があるから	社会全般に男性優位の考え方や慣習が根強いから	その他	無回答
前回	484 100.0	230 47.5	150 31.0	137 28.3	158 32.6	260 53.7	34 7.0	238 49.2	5 1.0	3 0.6
今回	333 100.0	171 51.4	128 38.4	90 27.0	91 27.3	182 54.7	16 4.8	195 58.6	6 1.8	1 0.3

問4-3 (問4-1で「2 今の取り組みを継続すればよい」と回答した方)その理由をお答えください。

全体では、「男性と女性では身体や能力の差、性別に応じた役割があるから」が76.0%と多く、「事実上、女性の発言力が強くなっているから」が41.3%、「すでに男女平等になっているから」が25.7%と続いている。

前回に比べ、「事実上、女性の発言力が強くなっているから」が24.2%から41.3%と多く回答されている。



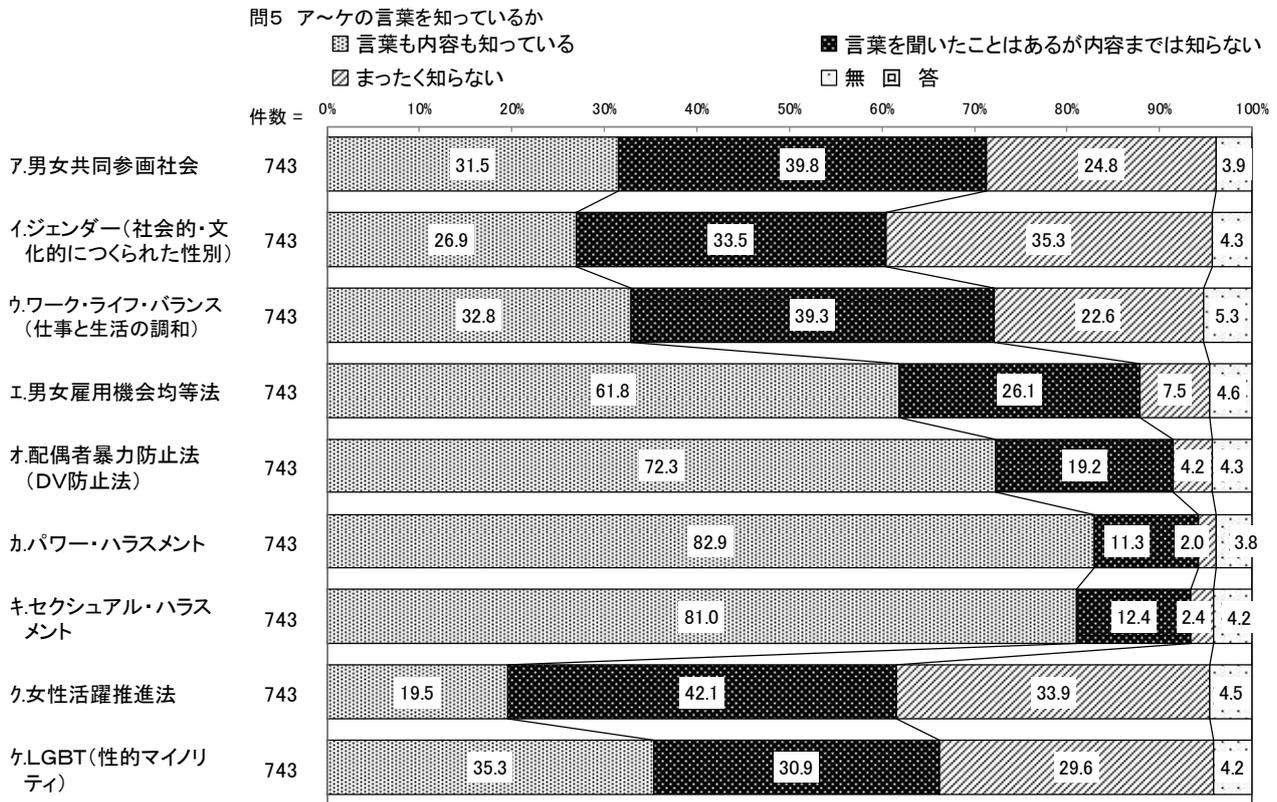
問4-3 今の取り組みを継続すればよい理由[上段:人数・下段:%・複数回答]

	全 体	すでに男女平等になっているから	事実上、女性の発言力が強くなっているから	男性と女性では身体や能力の差、性別に応じた役割があるから	女性は男性に従うべきという古いしきたり、価値観があるから	その他	無 回 答
前回	161 100.0	63 39.1	39 24.2	127 78.9	21 13.0	4 2.5	3 1.9
今回	179 100.0	46 25.7	74 41.3	136 76.0	7 3.9	3 1.7	- -

(4) 男女共同参画に関する認知度

問5 あなたは、ア～ケの言葉をご存知でしたか。

男女共同参画社会で39.8%、ジェンダー（社会的・文化的に作られた性別）で33.5%、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）で39.3%、女性活躍推進法で42.1%が「言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない」と回答しています。また、ジェンダー（社会的・文化的に作られた性別）、女性活躍推進法、LGBT（性別マイノリティ）では、「まったく知らない」という回答も多くあります。



ア. 男女共同参画社会

全体では、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が39.8%、「言葉も内容も知っている」が31.5%、「まったく知らない」が24.8%である。

イ. ジェンダー(社会的・文化的に作られた性別)

全体では「まったく知らない」が35.3%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が33.5%、「言葉も内容も知っている」が26.9%である。

ウ. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)

全体では、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が39.3%、「言葉も内容も知っている」が32.8%、「まったく知らない」が22.6%である。

エ. 男女雇用機会均等法

全体では、「言葉も内容も知っている」が61.8%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が26.1%、「まったく知らない」は7.5%である。

オ. 配偶者暴力防止法(DV防止法)

全体では、「言葉も内容も知っている」が72.3%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が19.2%、「まったく知らない」が4.2%である。

カ. パワー・ハラスメント

全体では、「言葉も内容も知っている」が82.9%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が11.3%、「まったく知らない」が2.0%である。

キ. セクシュアル・ハラスメント

全体では、「言葉も内容も知っている」が81.0%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が12.4%、「まったく知らない」が2.4%である。

ク. 女性活躍推進法

全体では「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が42.1%、「まったく知らない」が33.9%、「言葉も内容も知っている」が19.5%である。

ケ. LGBT(性別マイノリティ)

全体では、「言葉も内容も知っている」が35.3%、「言葉を聞いたことはあるが内容までは知らない」が31.0%、「まったく知らない」が29.6%である。

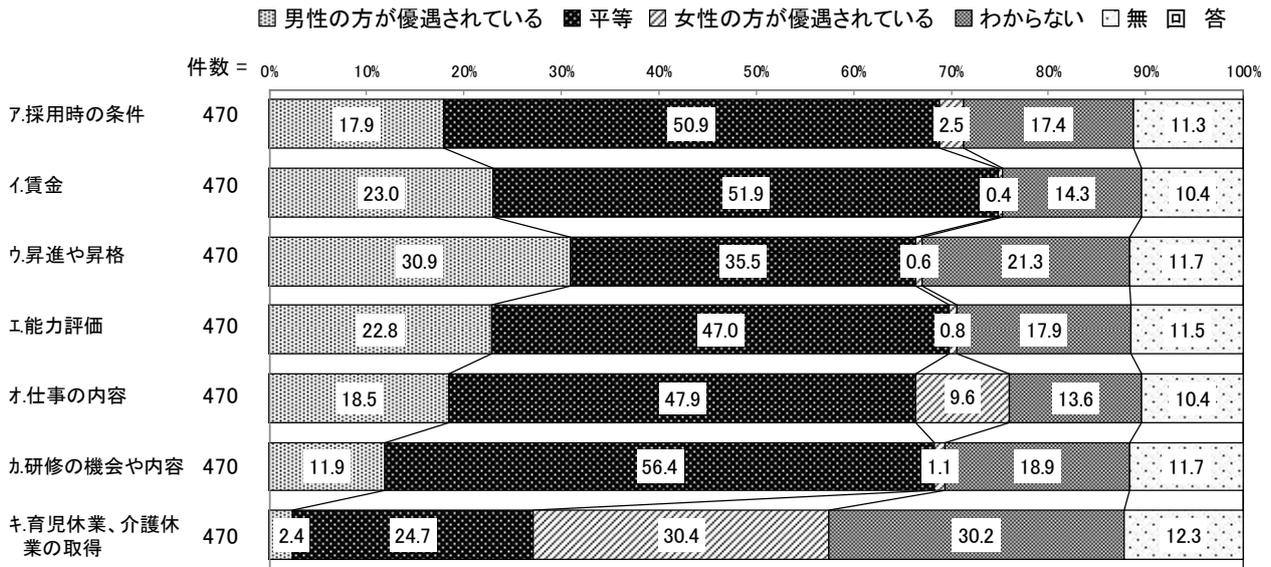
4. 職業の場に関すること

(1) 職場での男女平等感

問6 (現在、収入を得る仕事をしている方)あなたの職場では、次の事柄について、男女は平等になっていると思いますか。

全体では、多くの項目で「平等」が多く回答されているものの、昇進や昇格では「男性の方が優遇されている」30.9%、育児休業、介護休業の取得では「女性の方が優遇されている」が30.4%の回答がありました。

問6 職場



ア. 採用時の条件

全体では、「平等」が50.9%、「男性の方が優遇されている」が17.9%、「女性の方が優遇されている」が2.6%である。

前回に比べ、「平等」は前回同様50%程度と多く、「男性の方が優遇されている」が26.7%から10%近く少なくなっている。

問6 職場 ア.採用時の条件[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平 等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	84 26.7	157 49.8	11 3.5	47 14.9	16 5.1
今回	470 100.0	84 17.9	239 50.9	12 2.6	82 17.4	53 11.3

イ. 賃金

全体では、「男性の方が優遇されている」が23.0%、「平等」が51.9%、「女性の方が優遇されている」が0.4%である。

前回に比べ、「男性の方が優遇されている」が35.6%から23.0%と少なくなっており、「平等」が46.3%から51.9%とやや多くなっている。

問6 職場 イ.賃金[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	112 35.6	146 46.3	0 0.0	45 14.3	12 3.8
今回	470 100.0	108 23.0	244 51.9	2 0.4	67 14.3	49 10.4

ウ. 昇進や昇格

全体では、「男性の方が優遇されている」が30.9%、「平等」が35.5%、「女性の方が優遇されている」が0.6%である。

前回に比べ、「男性の方が優遇されている」は41.6%から30.9%に少なくなっている。

問6 職場 ウ.昇進や昇格[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	131 41.6	106 33.7	1 0.3	54 17.1	23 7.3
今回	470 100.0	145 30.9	167 35.5	3 0.6	100 21.3	55 11.7

エ. 能力評価

全体では、「男性の方が優遇されている」が22.8%、「平等」が47.0%、「女性の方が優遇されている」が0.9%である。

前回に比べ、「男性の方が優遇されている」、「平等」、「女性の方が優遇されている」はそれぞれやや少なくなっている。

問6 職場 エ.能力評価[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	89 28.3	163 51.7	3 1.0	44 14.0	16 5.1
今回	470 100.0	107 22.8	221 47.0	4 0.9	84 17.9	54 11.5

オ. 仕事の内容

全体では、「男性の方が優遇されている」が18.5%、「平等」が47.9%、「女性の方が優遇されている」が9.6%である。

前回に比べ、「男性の方が優遇されている」が26.3%から18.5%と少なくなっている。

問6 職場 オ.仕事の内容[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	83 26.3	142 45.1	37 11.7	35 11.1	18 5.7
今回	470 100.0	87 18.5	225 47.9	45 9.6	64 13.6	49 10.4

カ. 研修の機会や内容

全体では、「男性の方が優遇されている」が11.9%、「平等」が56.4%、「女性の方が優遇されている」が1.1%である。

前回と同程度の割合となっている。

問6 職場 カ.研修の機会や内容[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	49 15.6	183 58.1	1 0.3	60 19.0	22 7.0
今回	470 100.0	56 11.9	265 56.4	5 1.1	89 18.9	55 11.7

キ. 育児休業、介護休業の取得

全体では、「男性の方が優遇されている」が2.3%、「平等」が24.7%、「女性の方が優遇されている」が30.4%である。（なお「わからない」が30.2%いることに考慮する必要がある。）

前回に比べ、「平等」が28.9%から24.7%とやや少なくなっている。

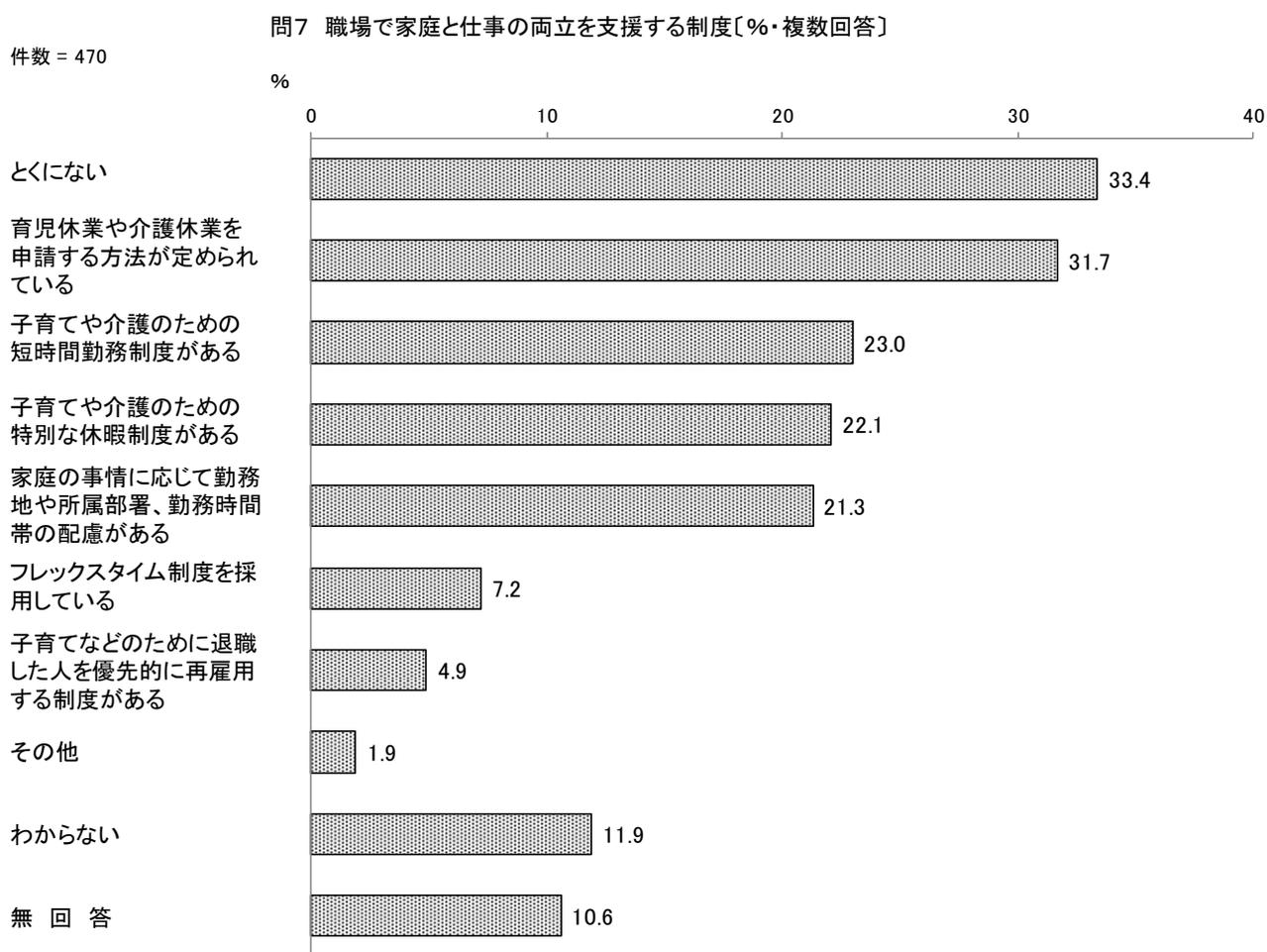
問6 職場 キ.育児休業、介護休業の取得[上段:人数・下段:%]						
	全 体	男性の方 が優遇され ている	平等	女性の方 が優遇され ている	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	9 2.9	91 28.9	94 29.8	96 30.5	25 7.9
今回	470 100.0	11 2.3	116 24.7	143 30.4	142 30.2	58 12.3

(2) 働く環境

問7 (現在、収入を得る仕事をしている方)あなたの職場では、家庭と仕事の両立を支援する制度を設けたり、なにか工夫をしていますか。

全体では、「とくにない」が33.4%と多く、「育児休業や介護休業を申請する方法が定められている」が31.7%、「子育てや介護のための短時間勤務制度がある」が23.0%、「子育てや介護のための特別な休暇制度がある」が22.1%、「家庭の事情に応じて勤務地や所属部署、勤務時間帯の配慮がある」が21.3%と続いている。

前回に比べ、「子育てや介護のための短時間勤務制度がある」、「家庭の事情に応じて勤務地や所属部署、勤務時間帯の配慮がある」がそれぞれ20%を超えてやや多くなっている。

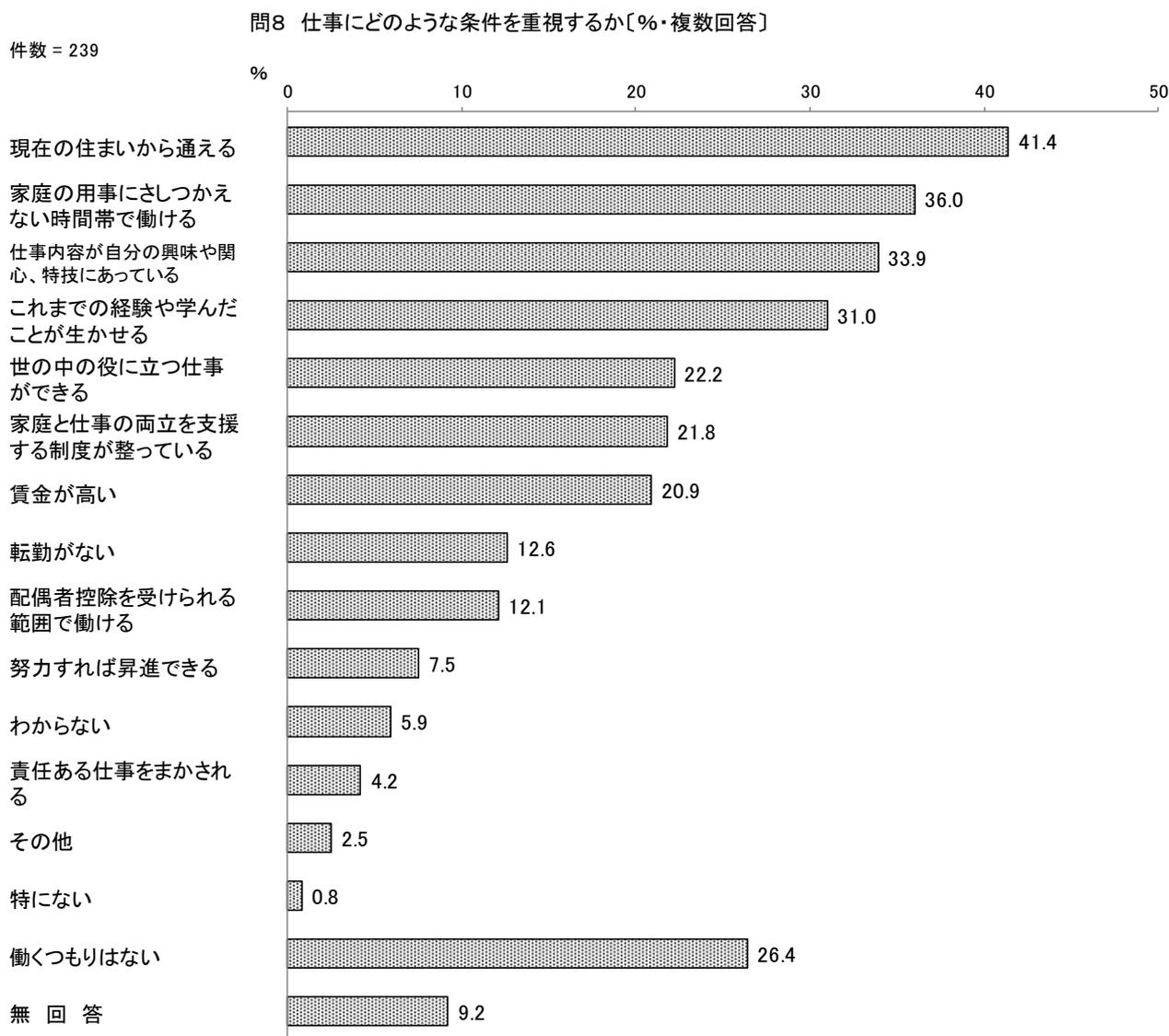


	全 体	育児休業や介護休業を申請する方法が定められている	フレックスタイム制度を採用している	子育てや介護のための短時間勤務制度がある	家庭の事情に応じて勤務地や所属部署、勤務時間帯の配慮がある	子育てや介護のための特別な休暇制度がある	子育てなどのために退職した人を優先的に再雇用する制度がある	その他	とくにない	わからない	無 回 答
前回	315 100.0	104 33.0	26 8.3	51 16.2	47 14.9	79 25.1	1 0.3	5 1.6	88 27.9	39 12.4	37 11.7
今回	470 100.0	149 31.7	34 7.2	108 23.0	100 21.3	104 22.1	23 4.9	9 1.9	157 33.4	56 11.9	50 10.6

問8 (現在仕事をしていない方(家事専業、高校生・学生、無職、その他の方))あなたは、今後、仕事につくとき、どのような条件を重視しますか。

全体では、「現在の住まいから通える」が41.4%と多く、「家庭の用事にさしつかえない時間帯で働ける」が36.0%、「仕事内容が自分の興味や関心、特技にあっている」が33.9%と続いている。

前回に比べ、「仕事内容が自分の興味や関心、特技にあっている」は48.6%から33.9%、「責任ある仕事をまかされる」は14.2%から4.2%と、10%以上少なくなっている。

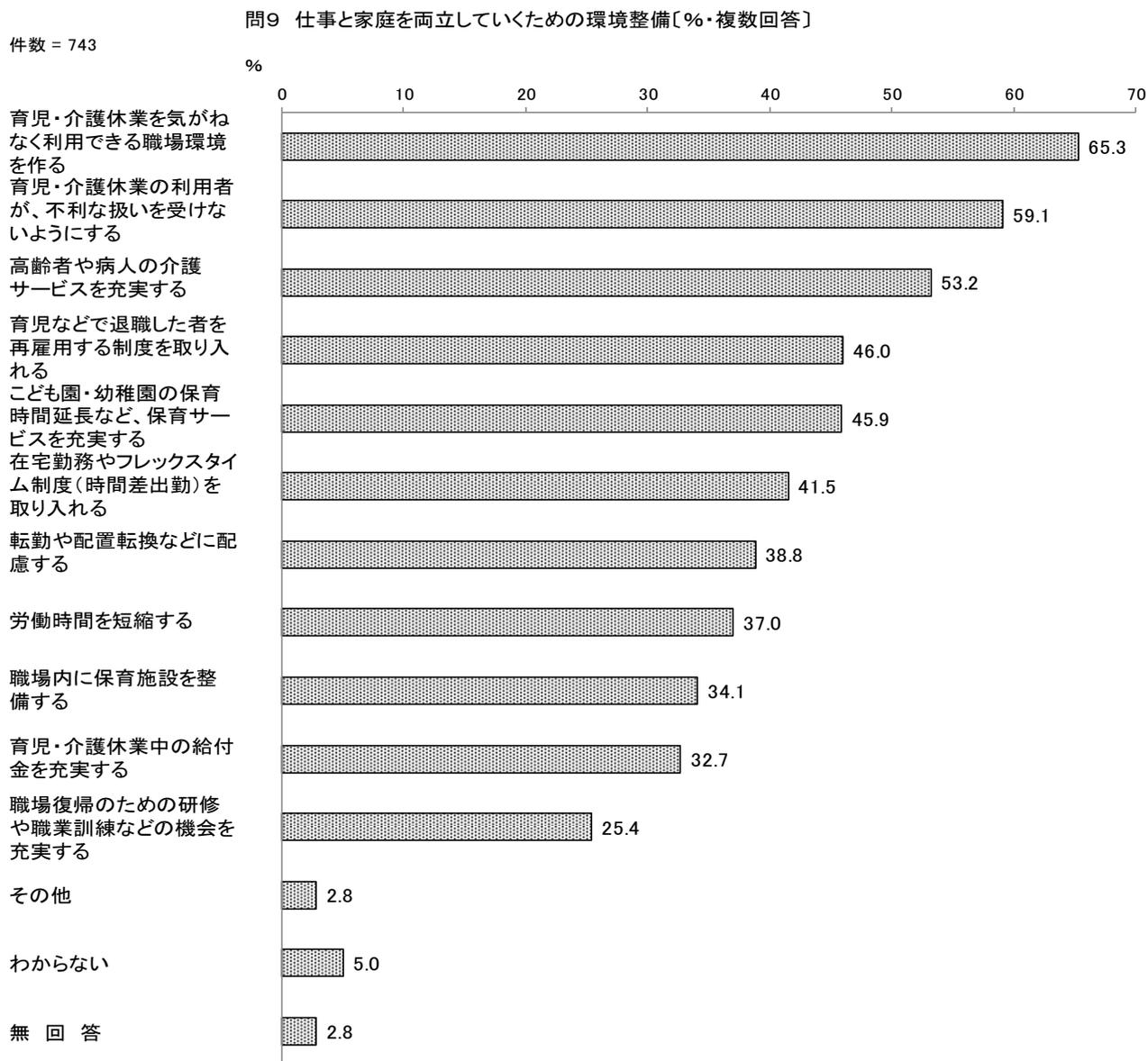


問8 仕事にどのような条件を重視するか[上段:人数・下段:%・複数回答]																	
	全体	賃金が高い	仕事内容が自分の興味や関心、特技にあっている	これまでの経験や学んだことが生かせる	努力すれば昇進できる	世の中の役に立つ仕事ができる	責任ある仕事をまかされる	家庭の用事にさしつかえない時間帯で働ける	配偶者控除を受けられる範囲で働ける	家庭と仕事の両立を支援する制度が整っている	現在の住まいから通える	転勤がない	その他	特にない	わからない	働くつもりはない	無回答
前回	212	40	103	67	29	59	30	76	29	39	94	40	4	10	1	45	21
	100.0	18.9	48.6	31.6	13.7	27.8	14.2	35.8	13.7	18.4	44.3	18.9	1.9	4.7	0.5	21.2	9.9
今回	239	50	81	74	18	53	10	86	29	52	99	30	6	2	14	63	22
	100.0	20.9	33.9	31.0	7.5	22.2	4.2	36.0	12.1	21.8	41.4	12.6	2.5	0.8	5.9	26.4	9.2

問9 一般的に、男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。

全体では、「育児・介護休業を気軽に利用できる職場環境を作る」が65.3%と多く、「育児・介護休業の利用者が、不利な扱いを受けないようにする」が59.1%、「高齢者や病人の介護サービスを充実する」が53.2%と続いている。

前回に比べ、「高齢者や病人の介護サービスを充実する」は1.2%から53.2%と特に多くなっており、「育児・介護休業の利用者が不利な扱いを受けないようにする」と「育児・介護休業を気軽に利用できる職場環境を作る」もそれぞれ23.5%から59.1%、51.8%から65.8%と多い。



問9 仕事と家庭を両立していくための環境整備〔上段:人数・下段:%・複数回答〕

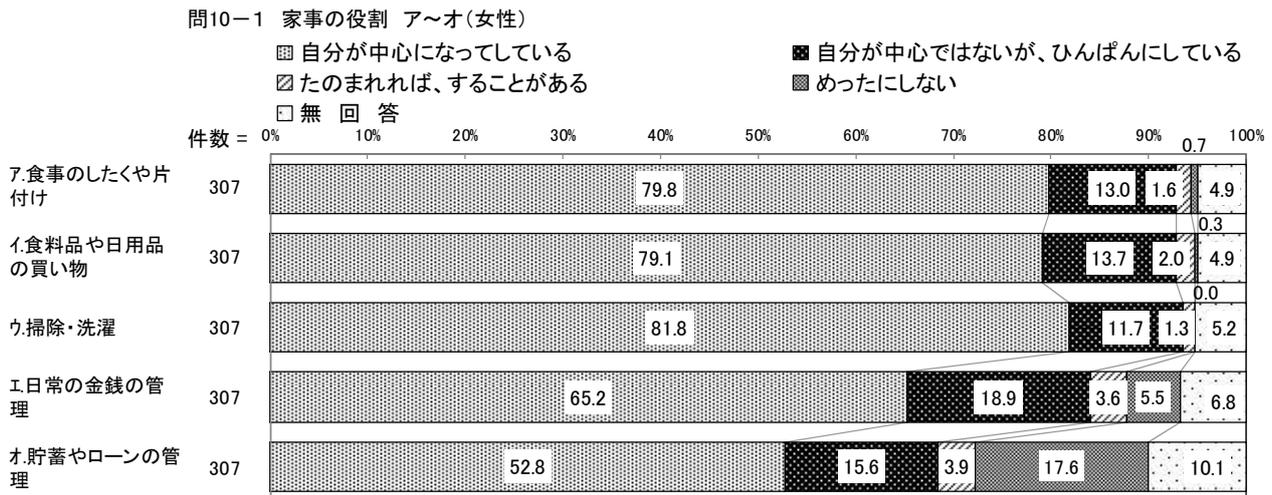
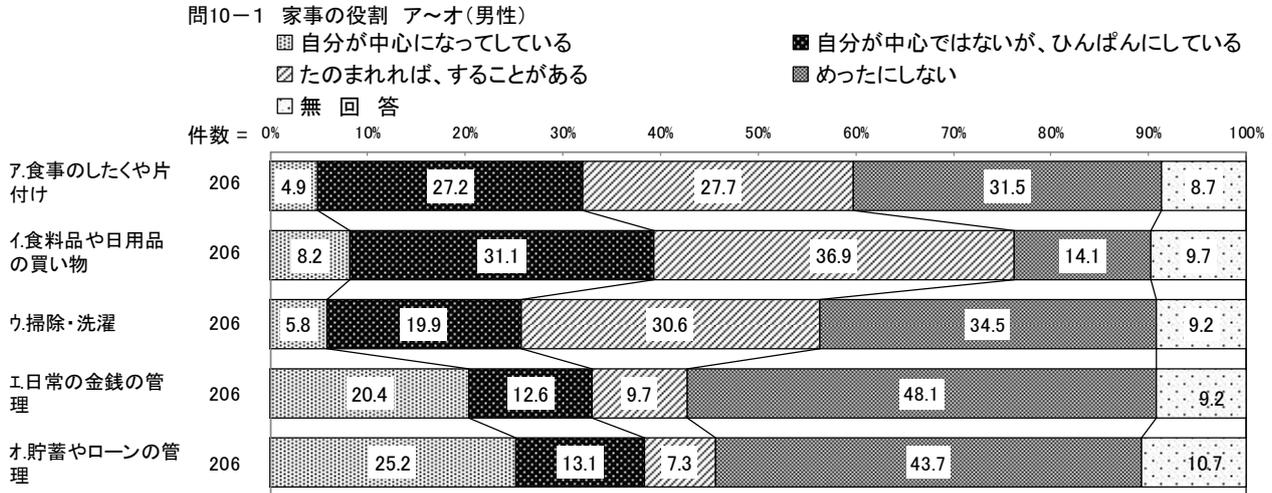
	全体	労働時間を短縮する	転勤や配置転換などに配慮する	在宅勤務やフレックスタイム制度(時間差出勤)を取り入れる	育児・介護休業を気軽に利用できる職場環境を作る	育児・介護休業の利用者が、不利な扱いを受けないようにする	育児・介護休業中の給付金を充実する	育児などで退職した者を再雇用する制度を取り入れる	職場復帰のための研修や職業訓練などの機会を充実する	職場内に保育施設を整備する	こども園・幼稚園の保育時間延長など、保育サービスを充実する	高齢者や病人の介護サービスを充実する	その他	わからない	無回答
前回	678	112	-	-	351	159	209	201	127	222	207	8	25	19	71
	100.0	16.5	-	-	51.8	23.5	30.8	29.6	18.7	32.7	30.5	1.2	3.7	2.8	10.5
今回	743	275	288	308	485	439	243	342	189	253	341	395	21	37	21
	100.0	37.0	38.8	41.5	65.3	59.1	32.7	46.0	25.4	34.1	45.9	53.2	2.8	5.0	2.8

5. 家庭生活や地域活動

(1) 家庭での役割分担

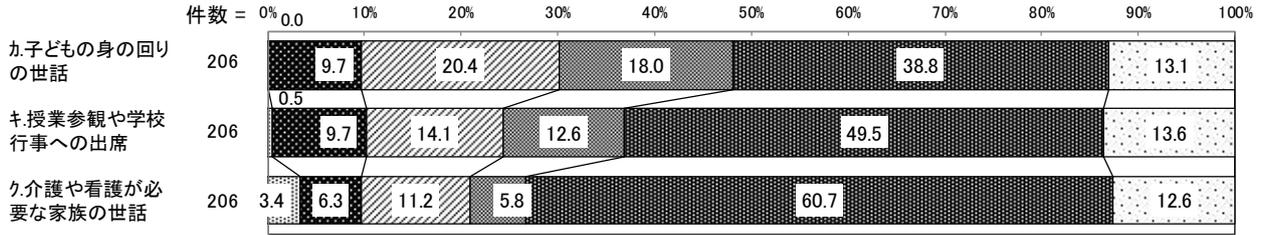
問10-1 (現在、配偶者等パートナーと暮らしている方)次に挙げるような家事についてあなたの役割はどれに該当しますか。

全ての項目で、女性が「自分が中心になってしている」と多く回答しています。



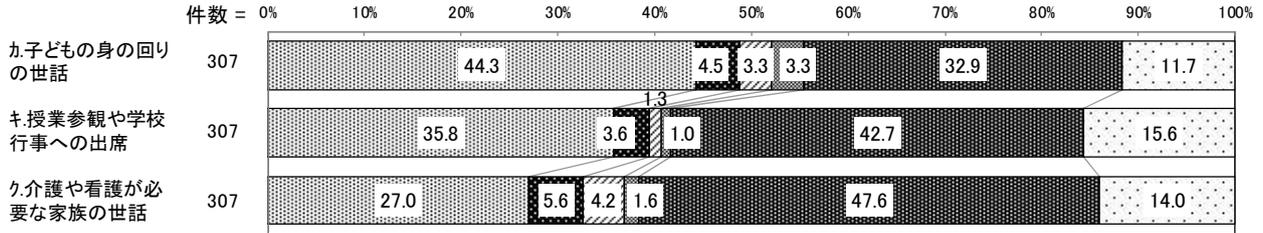
問10-1 家事の役割 カ〜ク(男性)

- 自分が中心になってしている
- ▨ たのまれれば、することがある
- 自分が中心ではないが、ひんぱんにしている
- ▨ めったにしない
- あてはまらない
- 無回答



問10-1 家事の役割 カ〜ク(女性)

- 自分が中心になってしている
- ▨ たのまれれば、することがある
- 自分が中心ではないが、ひんぱんにしている
- ▨ めったにしない
- あてはまらない
- 無回答



ア. 食事のしたくや片付け

全体では、「自分が中心になってしている」が49.5%と多く、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が18.8%、「めったにしない」が13.2%、「たのまれれば、することがある」が12.1%である。

前回に比べ、「自分が中心になってしている」は36.9%から49.5%と多くなっており、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」も12.1%から18.8%とやや多くなっている。

問10-1 家事の役割 ア.食事のしたくや片付け[上段:人数・下段:%]						
	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれれば、することがある	めったにしない	無 回 答
前回	678 100.0	250 36.9	82 12.1	89 13.1	79 11.7	178 26.3
今回	521 100.0	258 49.5	98 18.8	63 12.1	69 13.2	33 6.3

イ. 食料品や日用品の買い物

全体では、「自分が中心になってしている」が50.5%と多く、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が21.1%、「たのまれば、することがある」が15.7%となっている。

前回に比べて、「自分が中心になってしている」は32.6%から50.5%と大幅に多くなっている。

問10-1 家事の役割 イ.食料品や日用品の買い物[上段:人数・下段:%]						
	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	無 回 答
前回	678 100.0	221 32.6	126 18.6	98 14.5	48 7.1	185 27.3
今回	521 100.0	263 50.5	110 21.1	82 15.7	31 6.0	35 6.7

ウ. 掃除・洗濯

全体では、「自分が中心になってしている」が51.2%と多く、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が15.0%、「めったにしない」が14.2%、「たのまれば、することがある」が12.9%と続いている。

前回に比べ、「自分が中心になってしている」は36.9%から51.2%と大幅に多くなっている。

問10-1 家事の役割 ウ.掃除・洗濯[上段:人数・下段:%]						
	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	無 回 答
前回	678 100.0	250 36.9	75 11.1	87 12.8	75 11.1	191 28.2
今回	521 100.0	267 51.2	78 15.0	67 12.9	74 14.2	35 6.7

エ. 日常の金銭の管理

全体では、「自分が中心になってしている」が47.2%と多く、「めったにしない」が22.8%、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が16.1%、「たのまれば、することがある」が6.0%と続いている。

前回に比べ、「自分が中心になってしている」は35.4%から47.2%と多くなっている。

問10-1 家事の役割 エ.日常の金銭の管理[上段:人数・下段:%]						
	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	無 回 答
前回	678 100.0	240 35.4	78 11.5	34 5.0	124 18.3	202 29.8
今回	521 100.0	246 47.2	84 16.1	31 6.0	119 22.8	41 7.9

オ. 貯蓄やローンの管理

全体では、「自分が中心になってしている」が41.8%と多く、「めったにしない」が28.2%、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が14.4%、「たのまれば、することがある」が5.2%と続いている。

前回に比べ、「自分が中心になってしている」は32.4%から41.8%と多くなっている。

	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	無 回 答
前回	678 100.0	220 32.4	73 10.8	44 6.5	131 19.3	210 31.0
今回	521 100.0	218 41.8	75 14.4	27 5.2	147 28.2	54 10.4

カ. 子どもの身の回りの世話

全体では、「あてはまらない」が35.1%、「自分が中心になってしている」が26.5%と多く、「たのまれば、することがある」が10.0%、「めったにしない」が9.4%、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」が6.9%である。

前回と同様の回答が多いが、「あてはまらない」が19.6%から35.1%と多くなっている。

	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	あてはまらない	無 回 答
前回	678 100.0	167 24.6	48 7.1	62 9.1	46 6.8	133 19.6	222 32.7
今回	521 100.0	138 26.5	36 6.9	52 10.0	49 9.4	183 35.1	63 12.1

キ. 授業参観や学校行事への出席

全体では、「あてはまらない」が45.3%、「自分が中心になってしている」が21.7%と多く、「たのまれば、することがある」が6.3%、「自分が中心ではないが、ひんぱんにしている」、「めったにしない」がともに6.0%と続いている。

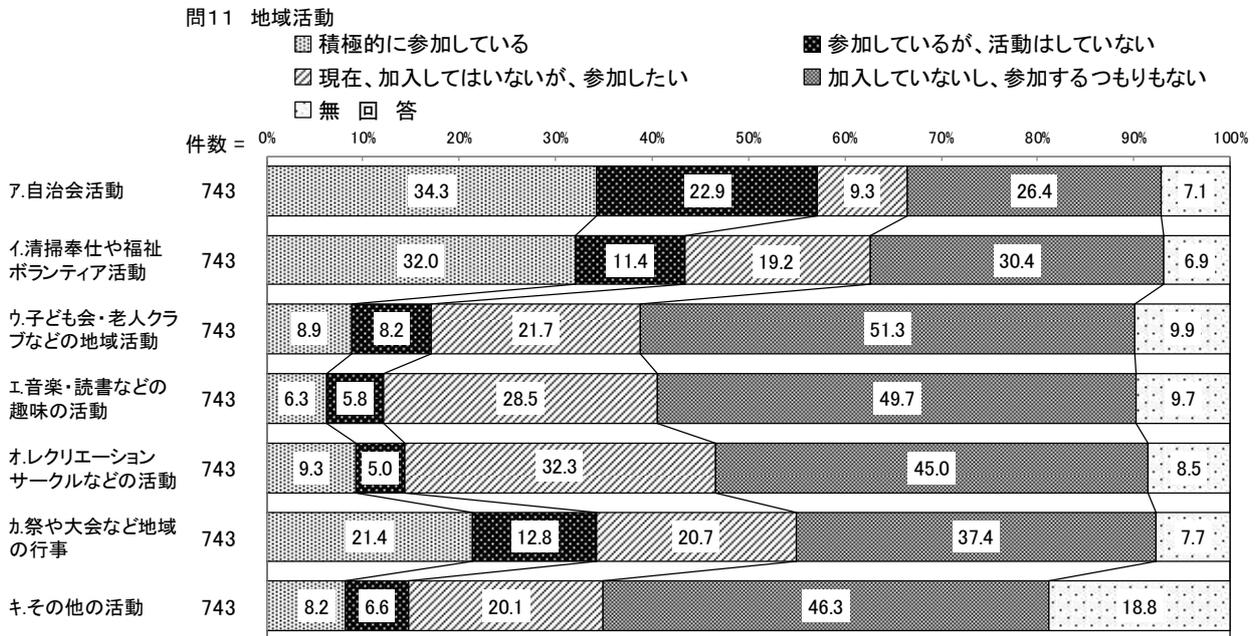
前回と同様の回答が多いが、「あてはまらない」が20.4%から45.3%と多くなっている。

	全 体	自分が中心になってしている	自分が中心ではないが、ひんぱんにしている	たのまれば、することがある	めったにしない	あてはまらない	無 回 答
前回	678 100.0	159 23.5	47 6.9	55 8.1	51 7.5	138 20.4	228 33.6
今回	521 100.0	113 21.7	31 6.0	33 6.3	31 6.0	236 45.3	77 14.8

(2) 地域活動への参加

問11 あなたは日頃、地区行事などに参加し、地域でのコミュニティ活動を行っていますか。

自治会活動で34.3%、清掃奉仕や福祉ボランティア活動で32.0%が「積極的に参加している」と回答していますが、その他の項目では「加入していないし、参加するつもりもない」が多く回答されています。



ア. 自治会活動

全体では、「積極的に参加している」が34.3%と多く、「加入していないし、参加するつもりもない」が26.4%、「参加しているが、活動はしていない」が22.9%、「現在、加入してはいないが、参加したい」が9.3%が続いている。

前回に比べ、「現在、加入してはいないが、参加したい」は14.0%から9.3%と少なく、「加入していないし、参加するつもりもない」は17.1%から26.4%と多くなっている。

	全体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいないが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無回答
前回	678	228	120	95	116	119
	100.0	33.6	17.7	14.0	17.1	17.6
今回	743	255	170	69	196	53
	100.0	34.3	22.9	9.3	26.4	7.1

イ. 清掃奉仕や福祉ボランティア活動

全体では、「積極的に参加している」が32.0%、「加入していないし、参加するつもりもない」が30.4%、「現在、加入してはいないが、参加したい」が19.2%、「参加しているが、活動はしていない」が11.4%で続いている。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は18.1%から30.4%と大幅に多くなっている。

問11 地域活動 イ.清掃奉仕や福祉ボランティア活動〔上段:人数・下段:%〕						
	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいないが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	214 31.6	63 9.3	150 22.1	123 18.1	128 18.9
今回	743 100.0	238 32.0	85 11.4	143 19.2	226 30.4	51 6.9

ウ. 子ども会・老人クラブなどの地域活動

全体では、「加入していないし、参加するつもりもない」が51.3%と多く、「現在、加入してはいないが、参加したい」が21.7%で続き、「積極的に参加している」が8.9%、「参加しているが、活動はしていない」が8.2%である。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は28.6%から51.3%と大幅に多くなっている。

問11 地域活動 ウ.子ども会・老人クラブなどの地域活動〔上段:人数・下段:%〕						
	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいないが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	93 13.7	60 8.8	183 27.0	194 28.6	148 21.8
今回	743 100.0	66 8.9	61 8.2	161 21.7	381 51.3	74 10.0

エ. 音楽・読書などの趣味の活動

全体では、「加入していないし、参加するつもりもない」が49.7%と多く、「現在、加入してはいないが、参加したい」が28.5%で続いている。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は33.8%から49.7%と多くなっている。

問11 地域活動 エ.音楽・読書などの趣味の活動〔上段:人数・下段:%〕						
	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいないが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	57 8.4	30 4.4	208 30.7	229 33.8	154 22.7
今回	743 100.0	47 6.3	43 5.8	212 28.5	369 49.7	72 9.7

オ. レクリエーションサークルなどの活動

全体では、「加入していないし、参加するつもりもない」が45.0%、「現在、加入してはいるが、参加したい」が32.3%と多く、「積極的に参加している」が9.3%である。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は29.2%から45.0%と大幅に多くなっている。

	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいるが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	82 12.1	40 5.9	214 31.6	198 29.2	144 21.2
今回	743 100.0	69 9.3	37 5.0	240 32.3	334 45.0	63 8.5

カ. 祭や大会など地域の行事

全体では、「加入していないし、参加するつもりもない」が37.4%と多く、「積極的に参加している」が21.4%、「現在、加入してはいるが、参加したい」が20.7%で続いている。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は25.5%から37.4%と多くなっている。

	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいるが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	140 20.6	68 10.0	163 24.0	173 25.5	134 19.8
今回	743 100.0	159 21.4	95 12.8	154 20.7	278 37.4	57 7.7

キ. その他の活動

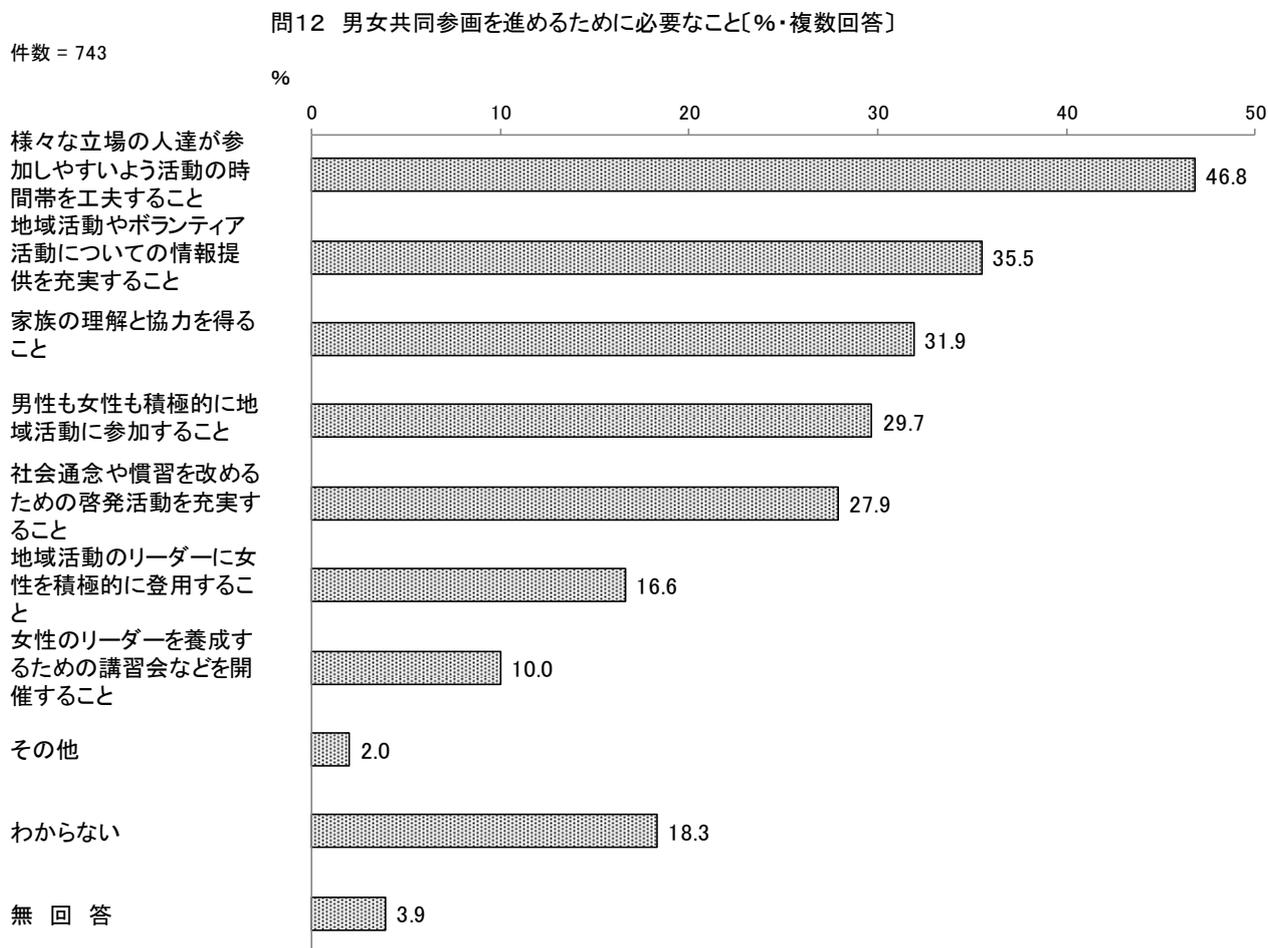
全体では、「加入していないし、参加するつもりもない」が46.3%と多く「現在、加入してはいるが、参加したい」が20.1%と続いております、「積極的に参加している」が8.2%である。

前回に比べ、「加入していないし、参加するつもりもない」は29.4%から46.3%と多くなっている。

	全 体	積極的に参加している	参加しているが、活動はしていない	現在、加入してはいるが、参加したい	加入していないし、参加するつもりもない	無 回 答
前回	678 100.0	52 7.7	45 6.6	164 24.2	199 29.4	218 32.2
今回	743 100.0	61 8.2	49 6.6	149 20.1	344 46.3	140 18.8

問12 あなたの住んでいる地域でのさまざまな活動において、男女共同参画を積極的に進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

全体では、「様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること」が46.8%と多く、「地域活動やボランティア活動についての情報提供を充実すること」が35.5%、「家族の理解と協力を得ること」が31.9%で続いている。



6. 男女間の暴力

(1) セクシュアル・ハラスメント等

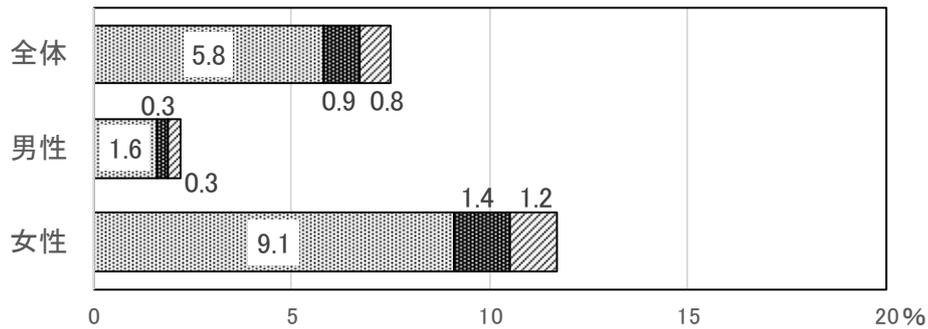
問13 セクシュアル・ハラスメントについて伺います。あなたは、これまでに職場、学校、地域などで、次のような経験をして不快・苦痛な思いをしたことがありますか。

ア. 不必要に体を触られた

全体では、いずれかの場所で経験した人は7.5%である。項目別では、「職場で経験した」が5.8%と多く、男性では1.6%、女性では9.1%である。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は9.1%から7.5%と少なくなっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した

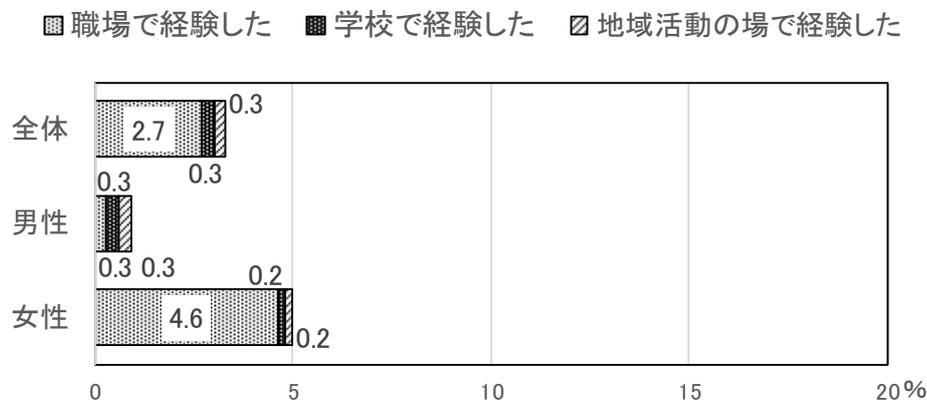


	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	43 6.3	12 1.8	7 1.0	617 91.0
今回	743 100.0	43 5.8	7 0.9	6 0.8	690 92.9

イ. 交際や性的関係をせまられた

全体では、「職場で経験した」が2.7%と多く、男性の0.3%に対し、女性は4.6%と多い。「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」はともに0.3%みられる。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は4.1%から3.2%と少なくなっている。

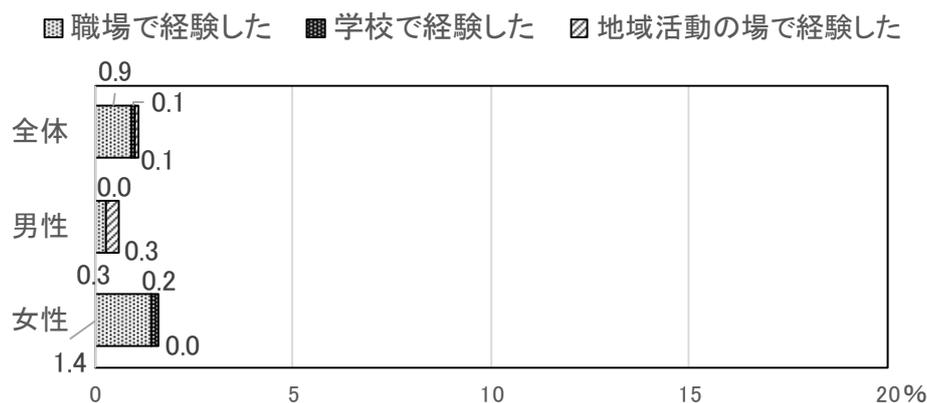


	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	24 3.5	3 0.4	1 0.1	650 95.9
今回	743 100.0	20 2.7	2 0.3	2 0.3	719 96.8

ウ. 交際等を拒否し、嫌がらせを受けた

全体では、「職場で経験した」が0.9%と多く、男性では0.3%、女性では1.4%である。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は2.2%から1.2%と少なくなっている。



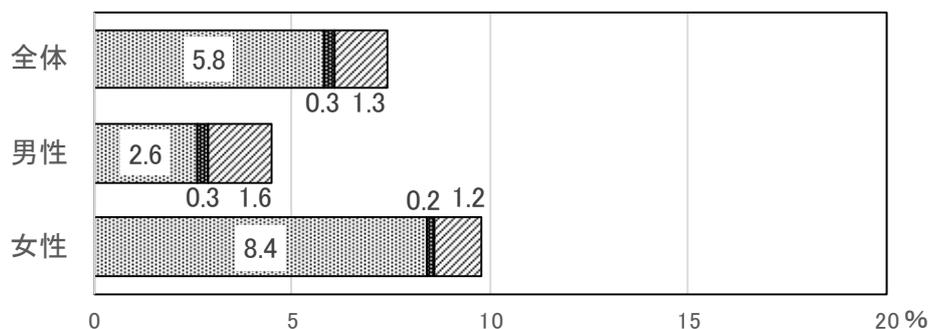
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	9 1.3	4 0.6	2 0.3	663 97.8
今回	743 100.0	7 0.9	1 0.1	1 0.1	734 98.8

エ. 宴会でお酌やデュエットを強要された

全体では、「職場で経験した」が5.8%と多く、男性の2.6%に対し、女性は8.4%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、7.8%から7.4%と変わらない。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した



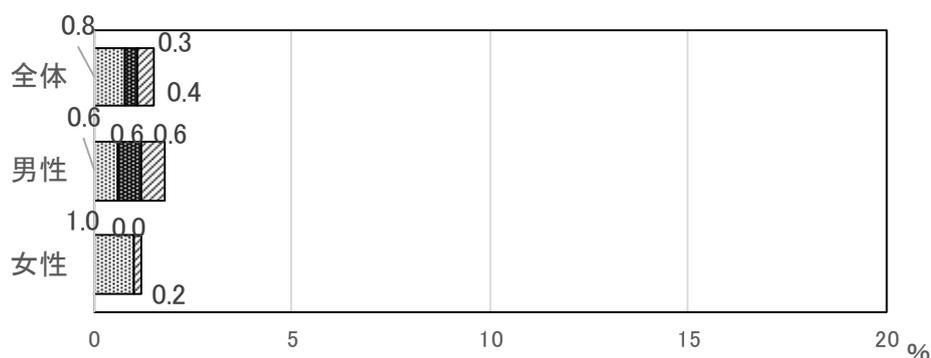
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	47 6.9	1 0.1	5 0.7	625 92.2
今回	743 100.0	43 5.8	2 0.3	10 1.3	691 93.0

オ. ノード写真などを故意に見せられた

全体では、「職場で経験した」が0.8%と多く、男性では0.6%、女性では1.0%である。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、1.5%から1.5%と同様となっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した



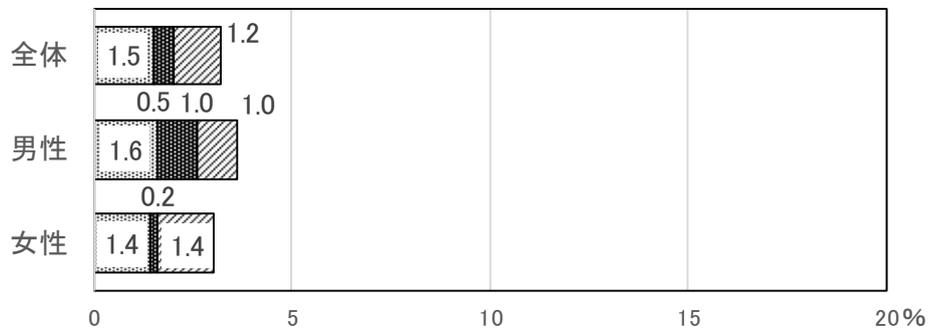
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	5 0.7	2 0.3	3 0.4	668 98.5
今回	743 100.0	6 0.8	2 0.3	3 0.4	734 98.8

カ. 性的なうわさを流された

全体では、「職場で経験した」が1.5%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、2.2%から3.2%と多くなっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した



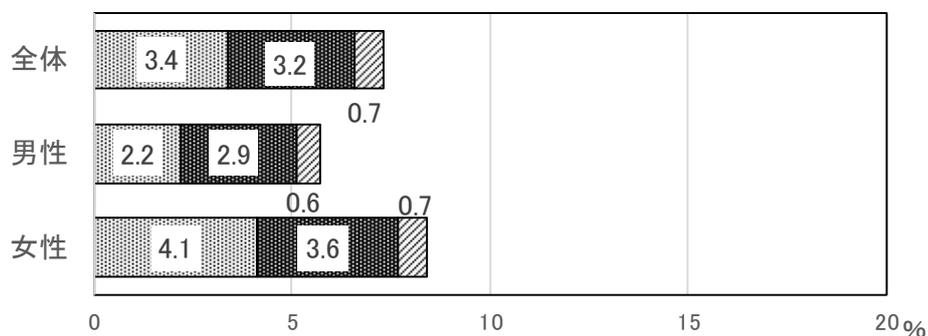
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	6 0.9	5 0.7	4 0.6	663 97.8
今回	743 100.0	11 1.5	4 0.5	9 1.2	721 97.0

キ. しつこく容姿のことを言われた

全体では、「職場で経験した」が3.4%、「学校で経験した」が3.2%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、5.0%から7.3%とやや多くなっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した



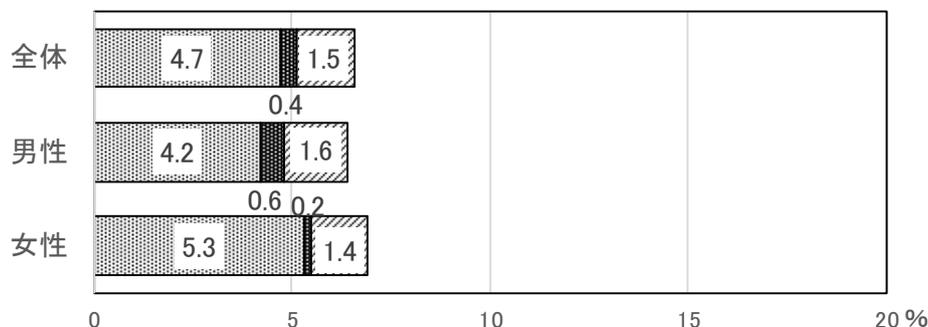
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	16 2.4	14 2.1	4 0.6	644 95.0
今回	743 100.0	25 3.4	24 3.2	5 0.7	699 94.1

ク. 交際や結婚、出産について聞かれた

全体では、「職場で経験した」が4.7%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、5.9%から6.6%とほぼ同様となっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した



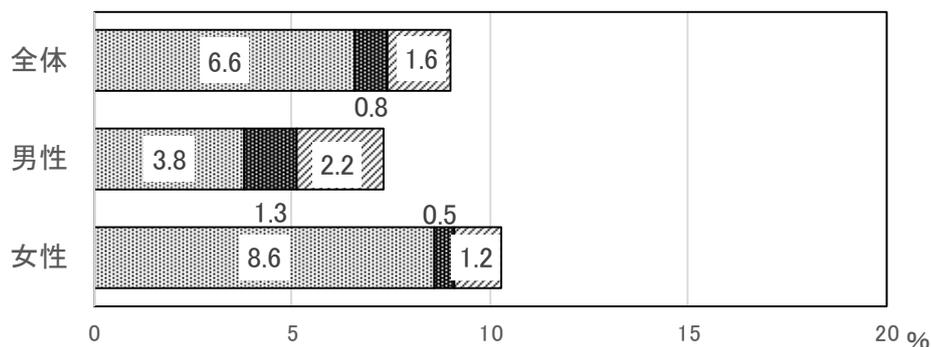
	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	29 4.3	1 0.1	10 1.5	638 94.1
今回	743 100.0	35 4.7	3 0.4	11 1.5	702 94.5

ケ. 性的な冗談や会話につきあわされた

全体では、「職場で経験した」が6.6%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、7.4%から9.0%とやや多くなっている。

■ 職場で経験した ■ 学校で経験した ▨ 地域活動の場で経験した

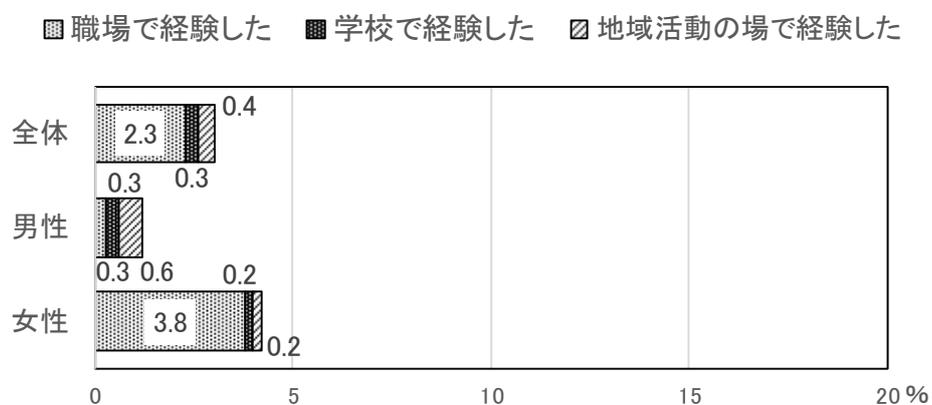


	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	36 5.3	3 0.4	11 1.6	628 92.6
今回	743 100.0	49 6.6	6 0.8	12 1.6	685 92.2

コ. かわいいね等のメールが送られてきた

全体では、「職場で経験した」が2.3%と多い。

前回に比べ、『経験した』（「職場で経験した」、「学校で経験した」、「地域活動の場で経験した」の合計）は、1.0%から3.0%とやや多くなっている。

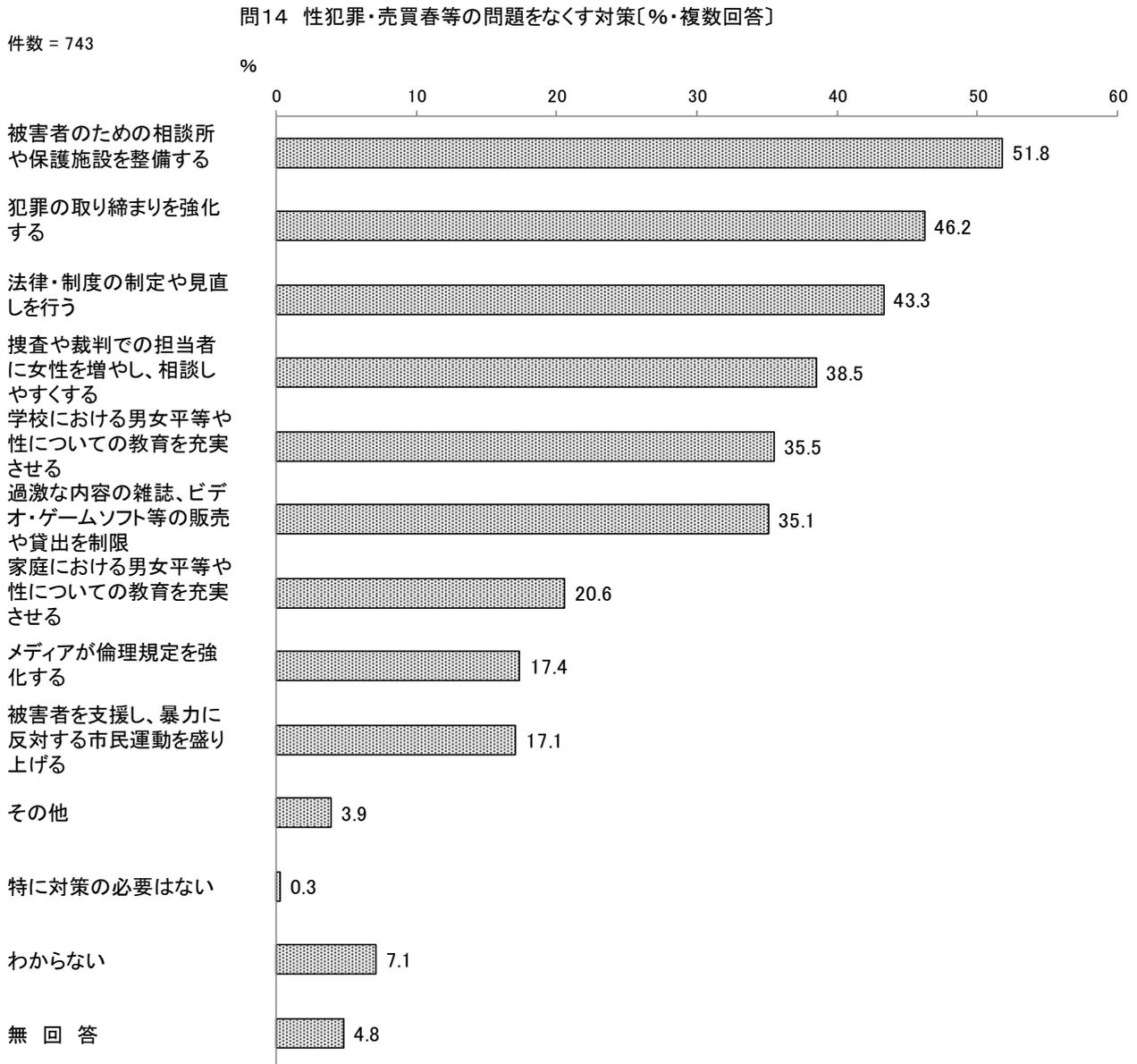


	全 体	職場で経験した	学校で経験した	地域活動の場で経験した	無 回 答
前回	678 100.0	5 0.7	2 0.3	0 0.0	671 99.0
今回	743 100.0	17 2.3	2 0.3	3 0.4	725 97.6

(2) DV・各種ハラスメント

問14 性犯罪、売買春(いわゆる「援助交際」を含む)、配偶者等の暴力、セクシュアル・ハラスメント等の問題をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。

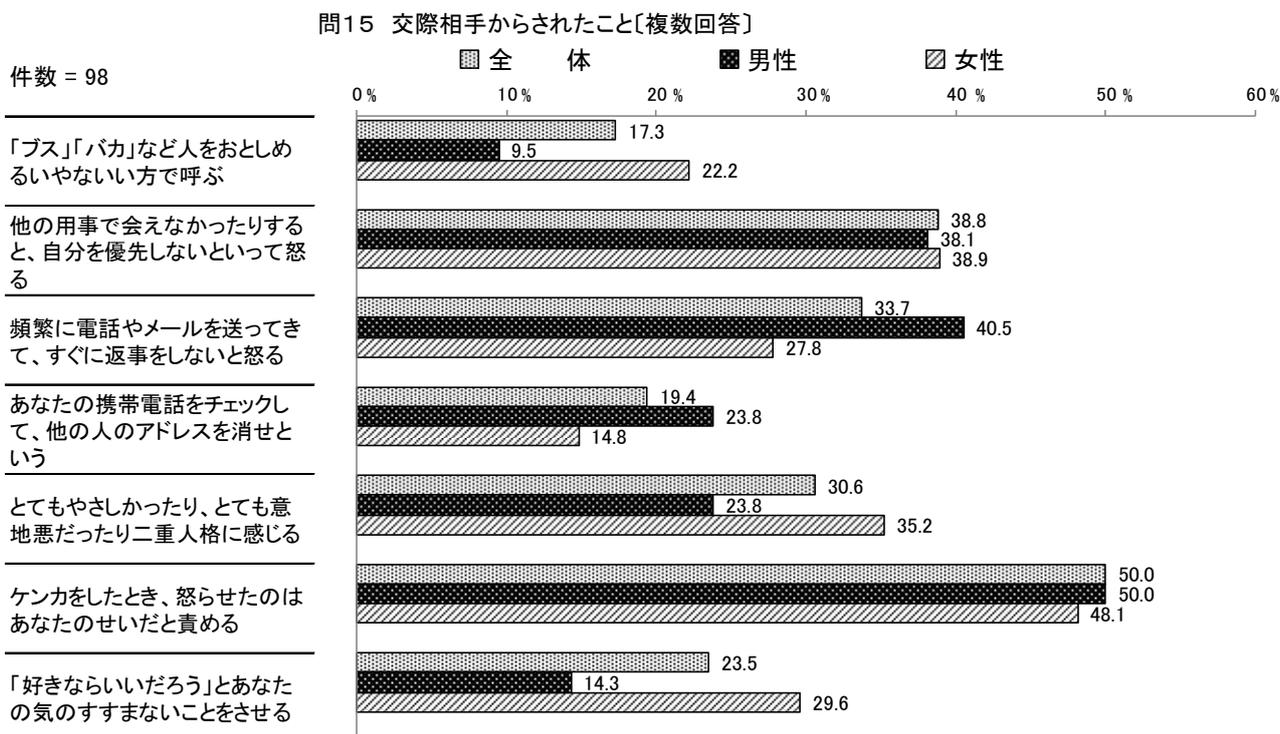
全体では、「被害者のための相談所や保護施設を整備する」が51.8%と多く、「犯罪の取り締まりを強化する」が46.2%、「法律・制度の制定や見直しを行う」が43.3%と続いている。



問15 これまでに交際相手がいた(いる)方にお聞きします。あなたは、これまでに交際相手から次のようなことをされたことがありますか。

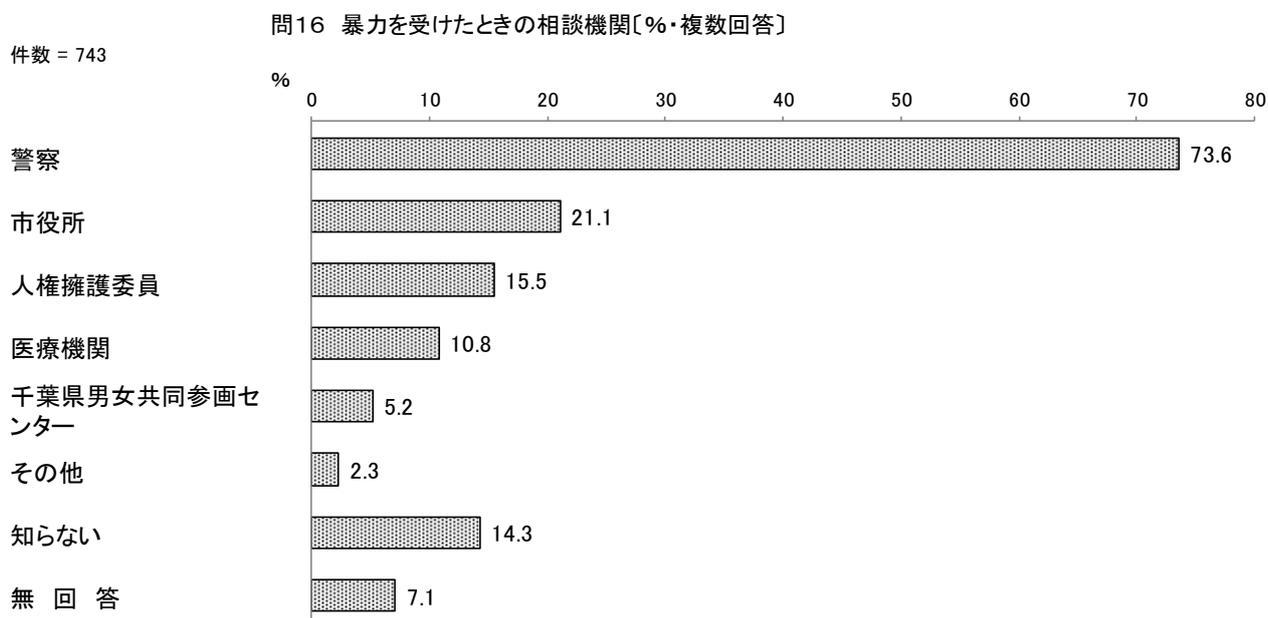
該当する回答者では、「ケンカをしたとき、怒らせたのはあなたのせいだと責める」が50.0%と多く、「他の用事で会えなかったりすると、自分を優先しないといって怒る」が38.8%、「頻繁に電話やメールを送ってきて、すぐに返事をしないと怒る」が33.7%と続いている。

男女別では、女性で「とてもやさしかったり、とても意地悪だったり二重人格に感じる」(35.2%)「好きならいいだろう」とあなたの気のすまないことをさせる」(29.6%)、「「ブス」「バカ」など人をおとしめるいやないい方で呼ぶ」(22.2%)などが男性より多く、「頻繁に電話やメールを送ってきて、すぐに返事をしないと怒る」は男性が40.5%と女性の27.8%より多い。



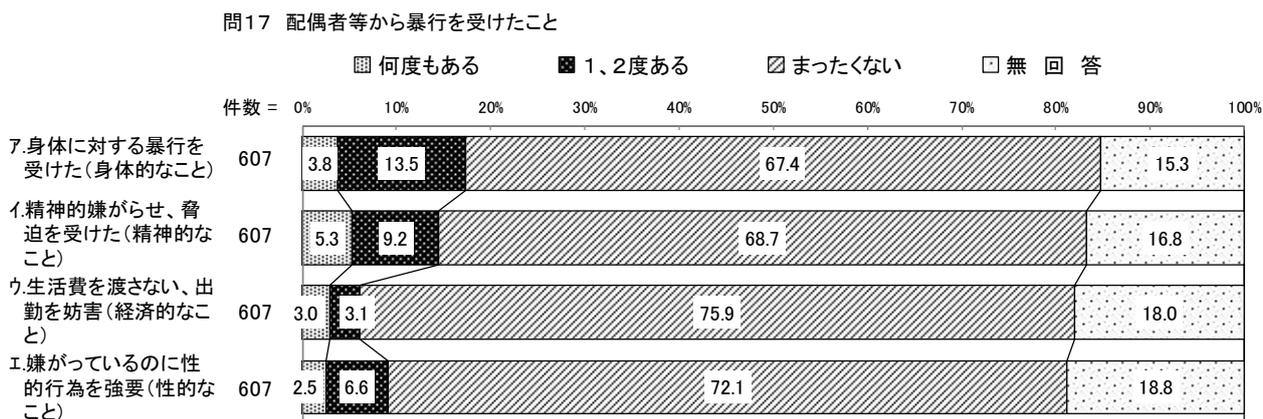
問16 配偶者や交際相手など、親密な関係にある人から暴力を受けたとき、あなたはどのような相談機関を知っていますか。

全体では、「警察」が73.6%と多く、「市役所」が21.1%、「人権擁護委員」が15.5%と続いている。



問17 (これまでに結婚したことがある方)あなたは、これまでに配偶者から次のような行為をされたことがありますか。(ここでの「配偶者」は婚姻届を出していない事実婚や元配偶者を含む。)

「まったくない」が多く回答されているものの、『ある』（「何度もある」と1、2度ある」の合計）は、身体に対する暴行を受けたが17.3%、精神的嫌がらせ、脅迫を受けたが14.5%の回答があります。



ア. 身体に対する暴行を受けた(身体的なこと)

全体では、「まったくない」が67.4%と多く、「1、2度ある」が13.5%、「何度もある」が3.8%である。

前回と選択肢が一部異なるが、『ある』（「何度もある」）は1.9%から3.8%となっている。

問17 ア.身体に対する暴行を受けた(身体的なこと) 〔上段:人数・下段:%〕					
	全 体	何度もある	1、2度ある	まったくない	無 回 答
前回	678 100.0	13 1.9	- -	220 32.4	399 58.8
今回	607 100.0	23 3.8	82 13.5	409 67.4	93 15.3

イ. 精神的嫌がらせ、脅迫を受けた(精神的なこと)

全体では、「まったくない」が68.7%と多く、「1、2度ある」が9.2%、「何度もある」が5.3%である。

前回と選択肢が一部異なるが、「何度もある」は3.8%から5.3%となっている。

問17 イ.精神的嫌がらせ、脅迫を受けた(精神的なこと) 〔上段:人数・下段:%〕					
	全 体	何度もある	1、2度ある	まったくない	無 回 答
前回	678 100.0	26 3.8	- -	217 32.0	401 59.1
今回	607 100.0	23 5.3	82 9.2	409 68.7	93 16.8

ウ. 生活費を渡さない、出勤を妨害(経済的なこと)

全体では、「まったくない」が75.9%と多く、「1、2度ある」が3.1%、「何度もある」が3.0%である。

前回と選択肢が一部異なるが、「何度もある」は1.6%から3.0%となっている。

問17 ウ.生活費を渡さない、出勤を妨害(経済的なこと) 〔上段:人数・下段:%〕					
	全 体	何度もある	1、2度ある	まったくない	無 回 答
前回	678 100.0	11 1.6	- -	243 35.8	411 60.6
今回	607 100.0	18 3.0	19 3.1	461 75.9	109 18.0

エ. 嫌がっているのに性的行為を強要(性的なこと)

全体では、「まったくない」が72.2%と多く、「1、2度ある」が6.6%、「何度もある」が2.5%である。

前回と選択肢が一部異なるが、「何度もある」は2.5%前後と同程度である。

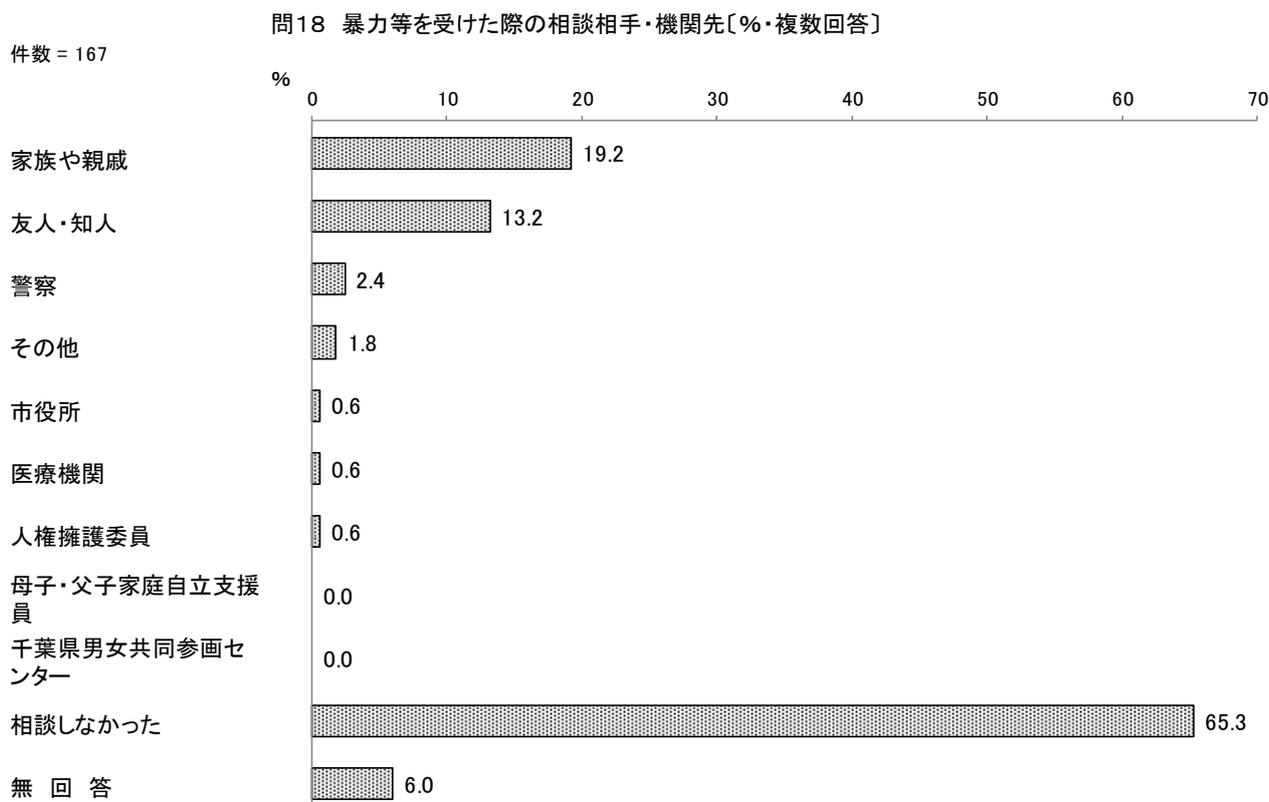
問17 エ嫌がっているのに性的行為を強要(性的なこと) 〔上段:人数・下段:%〕					
	全 体	何度もある	1、2度ある	まったくない	無 回 答
前回	678 100.0	16 2.3	- -	237 35.0	407 60.0
今回	607 100.0	15 2.5	40 6.6	438 72.2	114 18.8

問18 (問17で、ア～エの行為をされたことがある方)あなたが受けた問17のことについて誰かに相談しましたか。

該当する回答者の全体では、「相談しなかった」が65.3%と多く、「家族や親戚」が19.2%、「友人・知人」が13.2%で続いている。

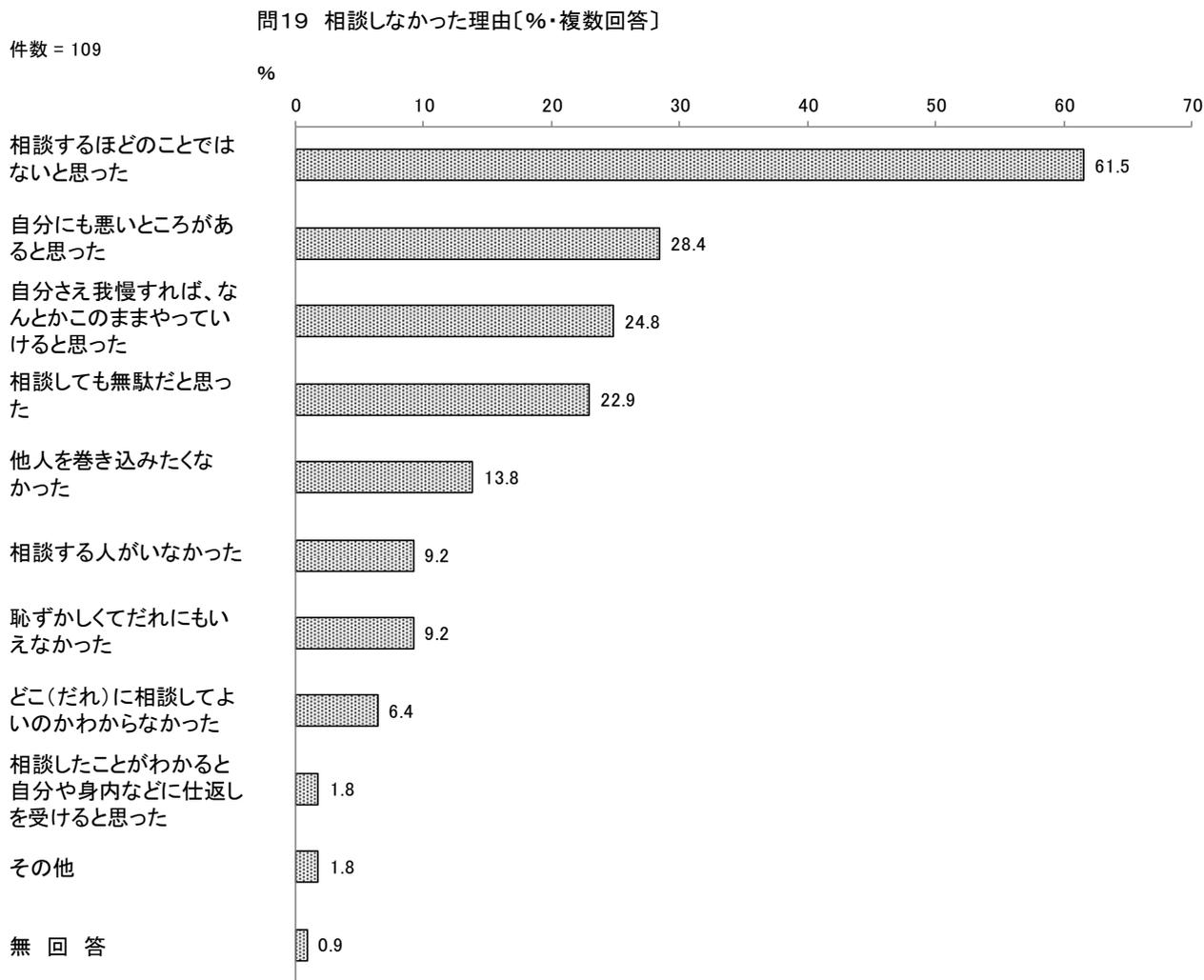
男女別では、「相談しなかった」が男性で79.4%と女性の62.3%よりも多い。

年代別では、「友人・知人」が40歳代で36.4%と多い。



問19 (問18で、「10 相談しなかった」と答えた方)どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。

全体では、「相談するほどのことではないと思った」が61.5%と多く、「自分にも悪いところがあると思った」が28.4%、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけるといった」が24.8%、「相談しても無駄だと思った」が22.9%が続いている。



7. 男女共同参画社会実現のために必要なこと

問20 男女共同参画社会の実現のために、今後行政はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

全体では、「育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり」が51.3%、「仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する」が49.1%、「介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する」が48.3%と50%前後が多い。

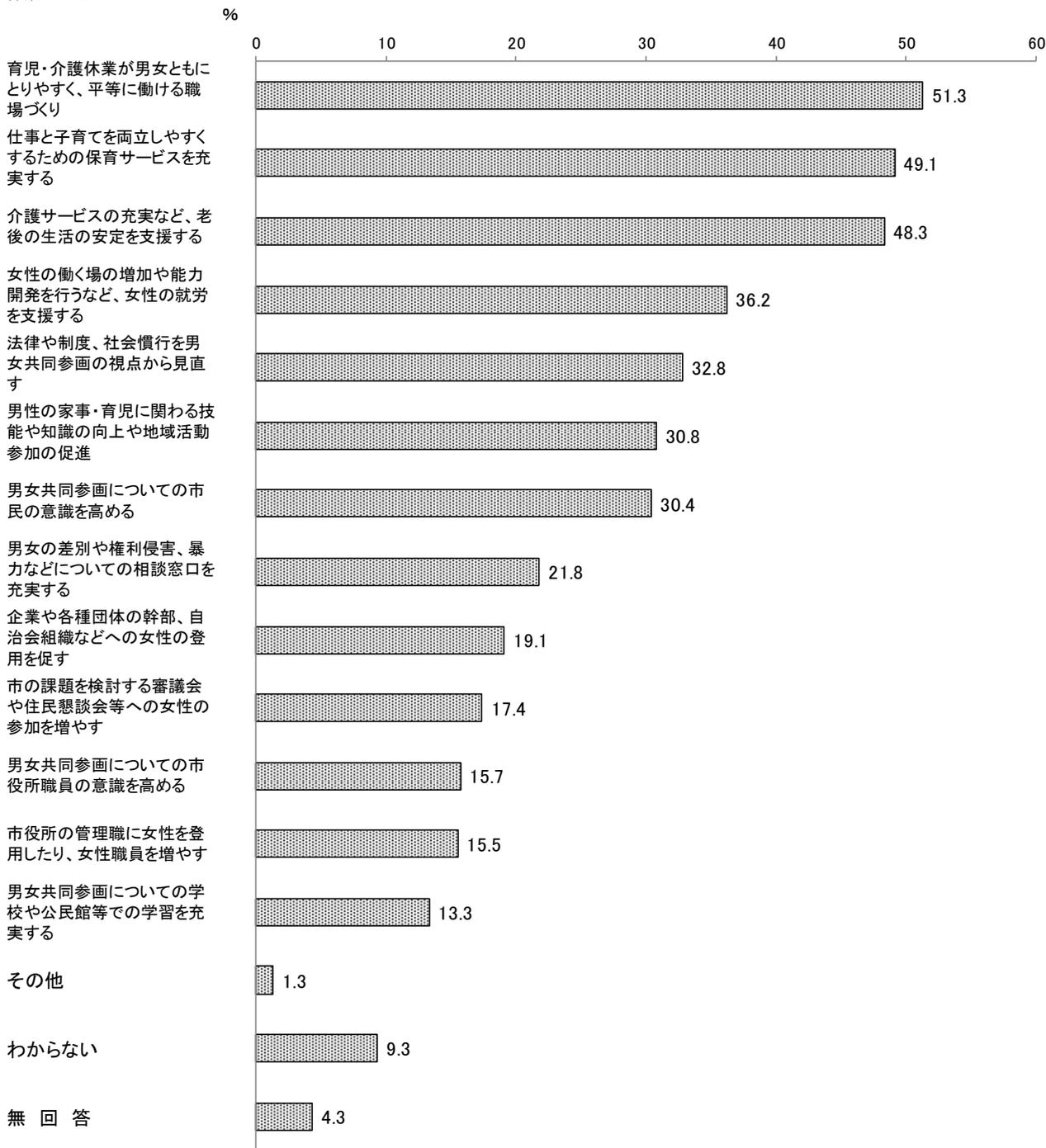
前回に比べ、「女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する」が43.7%から36.2%とやや少なくなっているものの、いずれも同程度の割合である。

上位5項目(性年齢別)

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 計	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(48.1%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(45.5%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(42.3%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(38.5%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(34.3%)
18～29歳	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(58.6%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(51.7%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(44.8%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(41.4%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(34.5%)
30歳代	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(60.0%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(57.1%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(42.9%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(42.9%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(40.0%)
40歳代	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(44.7%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(42.6%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(36.2%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(31.9%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(29.8%)法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(29.8%)、女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(29.8%)、
50歳代	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(50.9%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(50.9%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(49.1%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(47.3%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(36.4%)
60歳代	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(45.2%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(43.3%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(40.4%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(36.5%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(31.7%)、男女共同参画についての市民の意識を高める(31.7%)
70歳以上	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(54.8%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(45.2%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(45.2%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(42.9%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(35.7%)、女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(35.7%)
女性 計	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(56.1%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(52.8%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(49.6%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(38.1%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(33.6%)
18～29歳	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(80.6%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(69.4%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(58.3%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(44.4%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(44.4%)
30歳代	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(58.8%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(55.9%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(47.1%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(35.3%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(32.4%)
40歳代	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(55.6%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(55.6%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(49.2%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(46.0%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(46.0%)
50歳代	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(61.0%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(57.1%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(50.6%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(40.3%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(36.4%)
60歳代	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(59.6%)	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(55.1%)	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(47.4%)	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する(35.3%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(30.8%)
70歳以上	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する(56.9%)	男女共同参画についての市民の意識を高める(37.3%)	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり(33.3%)	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す(31.4%)	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進(29.4%)、仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する(29.4%)

問20 男女共同参画社会実現のための取り組み[%・複数回答]

件数 = 743

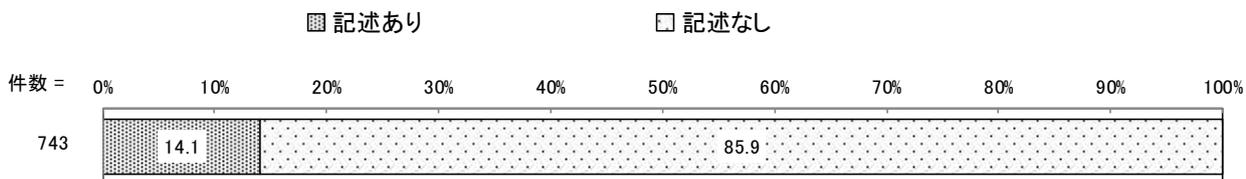


	全体	法律や制度、社会慣行を男女共同参画の視点から見直す	企業や各種団体の幹部、自治会組織などへの女性の登用を促す	女性の働く場の増加や能力開発を行うなど、女性の就労を支援する	男性の家事・育児に関わる技能や知識の向上や地域活動参加の促進	仕事と子育てを両立しやすくするための保育サービスを充実する	育児・介護休業が男女ともにとりやすく、平等に働ける職場づくり	介護サービスの充実など、老後の生活の安定を支援する	男女共同参画についての学校や公民館等での学習を充実する	男女の差別や権利侵害、暴力などについての相談窓口を充実する	市役所の管理職に女性を登用したり、女性職員を増やす	市の課題を検討する審議会や住民懇談会等への女性の参加を増やす	男女共同参画についての市役所職員の意識を高める	男女共同参画についての市民の意識を高める	その他	わからない	無回答
前回	678 100.0	246 36.3	154 22.7	296 43.7	223 32.9	314 46.3	349 51.5	326 48.1	88 13.0	127 18.7	106 15.6	144 21.2	138 20.4	229 33.8	10 1.5	40 5.9	51 7.5
今回	743 100.0	244 32.8	142 19.1	269 36.2	229 30.8	365 49.1	381 51.3	359 48.3	99 13.3	162 21.8	115 15.5	129 17.4	117 15.7	226 30.4	10 1.3	69 9.3	32 4.3

男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書きください。

全体では、「記述あり」が14.1%となっています。主な内容は以下の通りです。

自由記述



順位	内容	件数
1位	男女別ではなく能力を重視する方が良い	18件
	男と女は立場も考え方も違うので、平等というのは大変難しいと思う。それぞれの立場でいい環境や生活のしやすさなど、全く同じではなくてもいいのではないかと思う。男女というよりは個人が平等に働ける社会がベストなのではないか。男・女、特別な意識を持たず区別なく能力に応じた社会であればよい。	
2位	働きやすい環境が必要	16件
	育児をしながらでもできる仕事など、女性が働きやすい環境を用意してほしい。仕事と子育ての両立をしやすくするために、保育サービスを充実した方がいい。仕事も職場が子育てをすることに対して寛容だったらなお良い。女性はパートや登録といった働き方が多く、正社員ではないとなかなか意見も言いづらい。働き方が対等でないということが、大きな壁になっているように思う。	
3位	男女共同参画社会を推進すべき	11件
	いろいろな角度から男女共同参画社会実現に向けて進めていきたいものである。各議員(国から地方自治体に至るまで)の数を男女同数とする事が必要である。将来の家族像、地域社会像と併せて男女共同参画社会を考えるべきである。	
5位	意識改革が必要	11件
	男性の家庭での家事育児の参加には意識改革が必要だと思う。共働きで働き、家事育児を全て女性が負担していたのでは女性の社会参画は難しい。メディアなどでもっと参加を促すべき。女性の意識の向上を求める。いまだ、女だからという意識が強い。男性も男という垣根を取り払う必要がある。女性にも同じことが言える。	
5位	少子化や子育てに関すること	9件
	子どもが少なくなり日本の未来が不安である。子育ては短い期間で終わるので子育てを人任せにするのはもったいないと思う。男女で子育てをともにする社会になればよいと思う。まずは幼稚園に通う子どもの夏休みの預かり保育をなんとかしてあげてほしい。こども園との差を感じる。	